

HDコム専用接続サービス

つながるねっと

つながるねっとは、インターネットでビデオ会議ができるネットワークサービスです。

ネットワークを通じた攻撃を回避

社外でも出張中でも接続可能

管理・運用が簡単

優れたコストパフォーマンス

詳しくはホームページをご覧ください。

connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/visual/lineup/connection

- Windowsは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- IntelおよびIntel Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- Android™、Google PlayおよびGoogle Play ロゴはGoogle LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- iOSは、Apple Inc.のOS名称です。iOSは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- QuickTimeは、米国および他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品は、Polycom®によってライセンスされたG.722.1とG.722.1 Annex Cを使用しています。
- Polycom®は、Polycom, Inc.の米国およびその他の国における商標です。
- 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物(または技術)に該当します。本製品を日本国外へ輸出する(技術の提供を含む)場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書、工事説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してご使用ください。

商品・システム情報を載せたホームページです。ぜひ一度ご覧ください。 connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/visual

保証内容について掲載したホームページです。ぜひ一度ご覧ください。 connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_visual_support_after-sales-service

eco ideas

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます

詳しくはホームページで panasonic.com/jp/sustainability

COOL CHOICE

省エネ

省エネを徹底的に追求した製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO2排出量削減を目指します。

省資源

新しい資源の使用量を減らし、使用済みの製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

化学物質

パナソニック製品は、特定の環境負荷物質※の使用を規制するEU RoHS指令の基準値にグローバルで準拠しています。※鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、特定臭素系難燃剤、特定フタル酸エステル

■本製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記にご相談ください。

パナソニック
ビデオ会議システム
ご相談センター

電話



0570-087-800

受付：9時～17時30分
(土・日・祝日・年末年始・弊社休業日は除く)
携帯電話からもご利用いただけます。

ホームページからのお問い合わせは connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_visual_support_soudan

ご相談窓口における
個人情報の取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社及びパナソニックグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

●お問い合わせは…

パナソニック コネクト株式会社
メディアエンターテインメント事業部

〒812-8531
福岡県福岡市博多区美野島4丁目1番62号

このカタログの内容についてのお問い合わせは、左記にご相談ください。
または、パナソニック ビデオ会議システムご相談センターにおたずねください。

このカタログの記載内容は
2022年4月現在のものです。

MG-HDCC041JP

Panasonic CONNECT

HD映像コミュニケーションシステム 総合カタログ



パナソニックのビデオ会議

HDコム



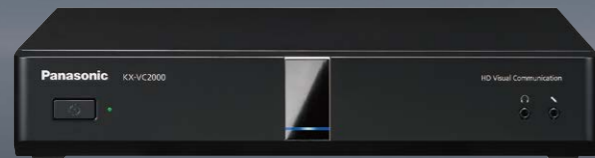
24地点^{※1} ビデオ会議を実現するKX-VC2000J

複数の現場を柔軟につなげる

HD映像コミュニケーションシステム(以下、HDコム)の最上位モデルKX-VC2000Jは本体にMCU機能を内蔵し、導入時にかかるコストを抑えながら最大24地点の多地点ビデオ会議を開催できます。社内イントラネットの接続や、社外とのインターネットを通じた接続も可能です。外出先からモバイル機器を使ってビデオ会議に参加できるので、時間や場所にしばられない柔軟なビジュアルコミュニケーションを実現します。

KX-VC2000J

オープン価格[※]
リモコン付属
別売 ・HDコム専用カメラ
・HDコム専用マイク
・HDMIケーブル

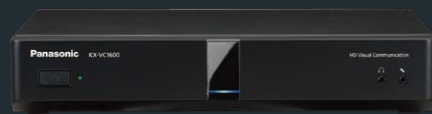


最大
24
地点^{※1}

- 24地点^{※1} 接続
- デュアルネットワーク
- マルチデバイス
- トリプルモニター^{※2}
- フルHD 1080/60p
- AV-QoS
- サブカメラ映像共有
- RCA端子(音声/映像)
- 録画端子^{※2}

KX-VC1600J

オープン価格[※]
リモコン付属
別売 ・HDコム専用カメラ
・HDコム専用マイク
・HDMIケーブル

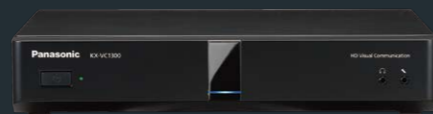


最大
10
地点^{※3}

- 10地点^{※3} 接続
- デュアルネットワーク
- マルチデバイス
- トリプルモニター^{※2}
- フルHD 1080/60p
- AV-QoS
- サブカメラ映像共有
- RCA端子(音声/映像)
- 録画端子^{※2}

KX-VC1300J

オープン価格[※]
リモコン付属
別売 ・HDコム専用カメラ
・HDコム専用マイク
・HDMIケーブル



最大
4
地点

- 4地点 接続
- デュアルネットワーク
- マルチデバイス
- デュアルモニター
- フルHD 1080/60p
- AV-QoS
- サブカメラ映像共有
- RCA端子(音声)
- 録画端子^{※2}

●斜線の機能は有しておりません。

※1 KX-VC2000Jに、アクティベーションキー(品番:KX-VCS305W)を1つ使用すると20地点、2つ使用すると24地点接続に拡張します。
※2 HDMI3端子は、ディスプレイもしくは録画機器を本体接続時に使用します。
※3 KX-VC1600Jに、アクティベーションキー(品番:KX-VCS304W)を使用すると10地点接続に拡張します。
※オープン価格商品の価格は販売店にお問い合わせください。

HDコムの特長

HDコムは、パナソニックが長年AV機器で培った高画質・高音質技術を継承しています。相手の表情や声のニュアンスまで伝わり、会議や打ち合わせをスムーズに進めることができます。

業界最多の24地点接続[※] たくさんつながる

高額なMCU(多地点接続装置)を購入しなくても、本体だけで最大24地点の多地点ビデオ会議が可能です。高画質・高音質な多地点ビデオ会議を簡単な操作で開催できます。



※KX-VC2000J対応。
KX-VC2000Jに、アクティベーションキー(品番:KX-VCS305W)を1つ使用すると20地点、2つ使用すると24地点接続に拡張します。

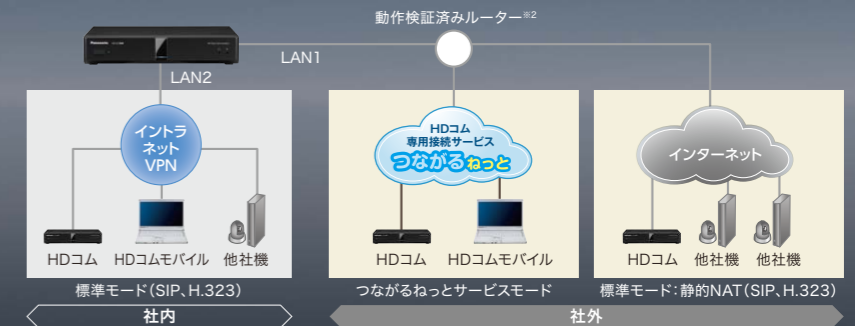
パソコン・タブレット・スマートフォンが 便利につながる

Windows/iOS/Android™のマルチデバイスに対応し、出張先や自宅からビデオ会議に参加が可能です。時間や場所にとらわれないビジュアルコミュニケーションが実現できます。



社内と社外が 同時につながる^{※1}

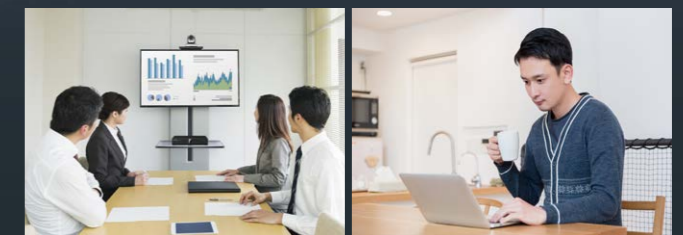
社内と社外を同時につないだビデオ会議を実現。社内のイントラネットとインターネットを介した取引先や出張先からのビデオ会議でも接続は簡単です。



※1 KX-VC2000J/KX-VC1600J対応
※2 動作検証済みルーターについては21ページをご参照ください。

社内と社外が HDコムとWeb会議でつながる

HDコムとWeb会議の連携で、社内と社外を同時につないだ会議が可能です。Web会議を使って自宅や出張先から社内のHDコムの会議に参加できるため、働き方改革の推進にも貢献します。

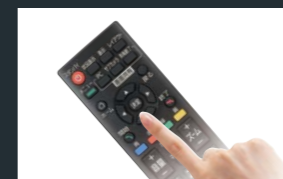


素早い起動・リモコン操作 誰でも簡単につかえる

電源を入れてから約45秒[※]で起動するため、速やかにビデオ会議を開始できます。また、テレビのリモコンのような直感的な操作が可能です。 ※KX-VC1600Jの場合。



HDコムの電源入/切は、本体の電源スイッチを使わなくても、集中電源スイッチ付きテーブルタップの電源スイッチからも可能です。



付属のリモコンは日本語表記で使いやすく、簡単に発信ができます。

無償バージョンアップ・全国保守サービス対応 安心してつかえる

無償でファームウェアをバージョンアップでき、新しい機能をご利用いただけます。また、もし不具合が発生した場合でも安心してご利用いただけるよう、保守サービスをご準備しております。

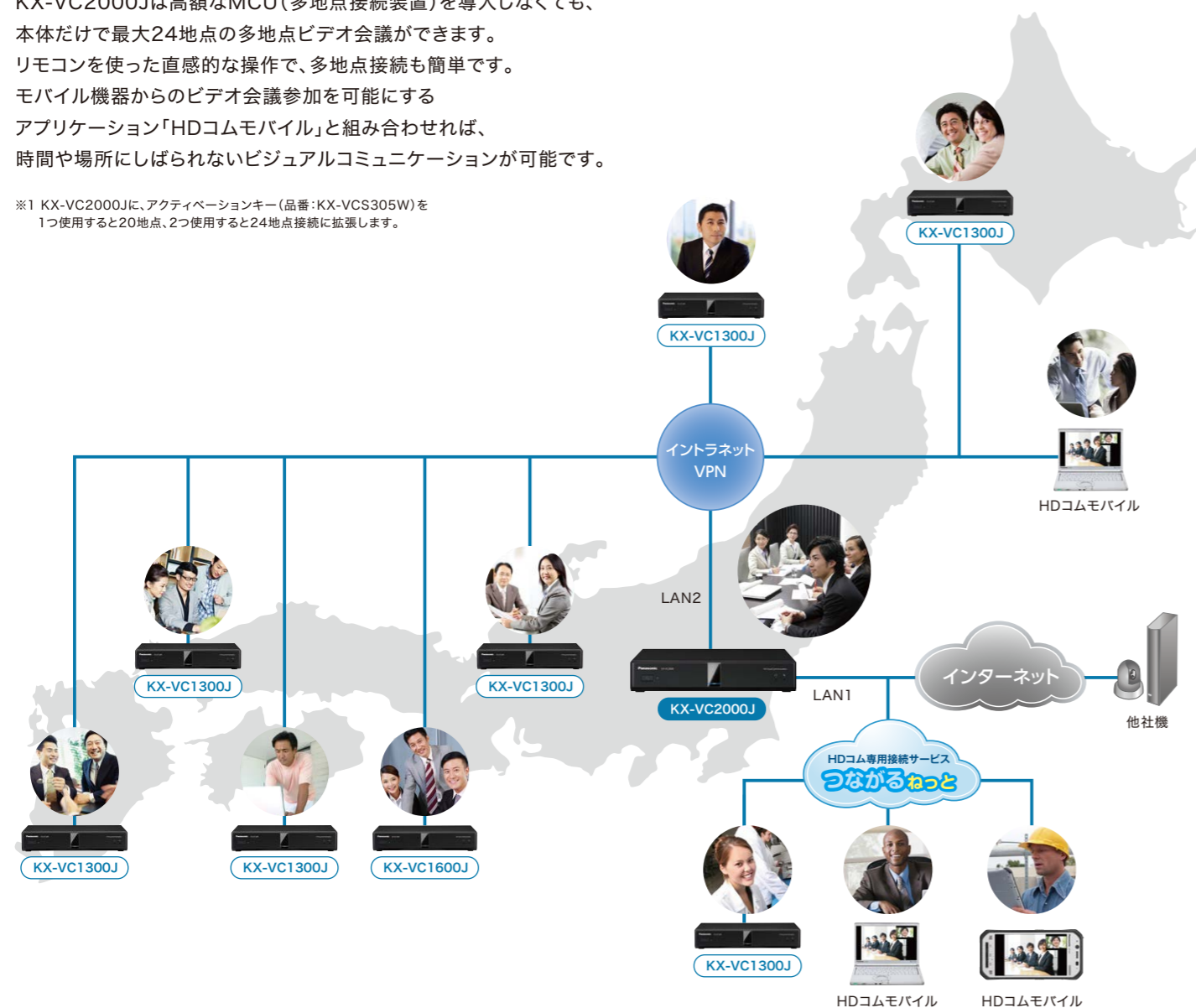


HD映像コミュニケーションシステム

最大24地点※1の多地点ビデオ会議を実現

KX-VC2000Jは高価なMCU(多地点接続装置)を導入しなくても、本体だけで最大24地点の多地点ビデオ会議ができます。リモコンを使った直感的な操作で、多地点接続も簡単です。モバイル機器からのビデオ会議参加を可能にするアプリケーション「HDコムモバイル」と組み合わせれば、時間や場所にしばられないビジュアルコミュニケーションが可能です。

※1 KX-VC2000Jに、アクティベーションキー(品番:KX-VCS305W)を1つ使用すると20地点、2つ使用すると24地点接続に拡張します。

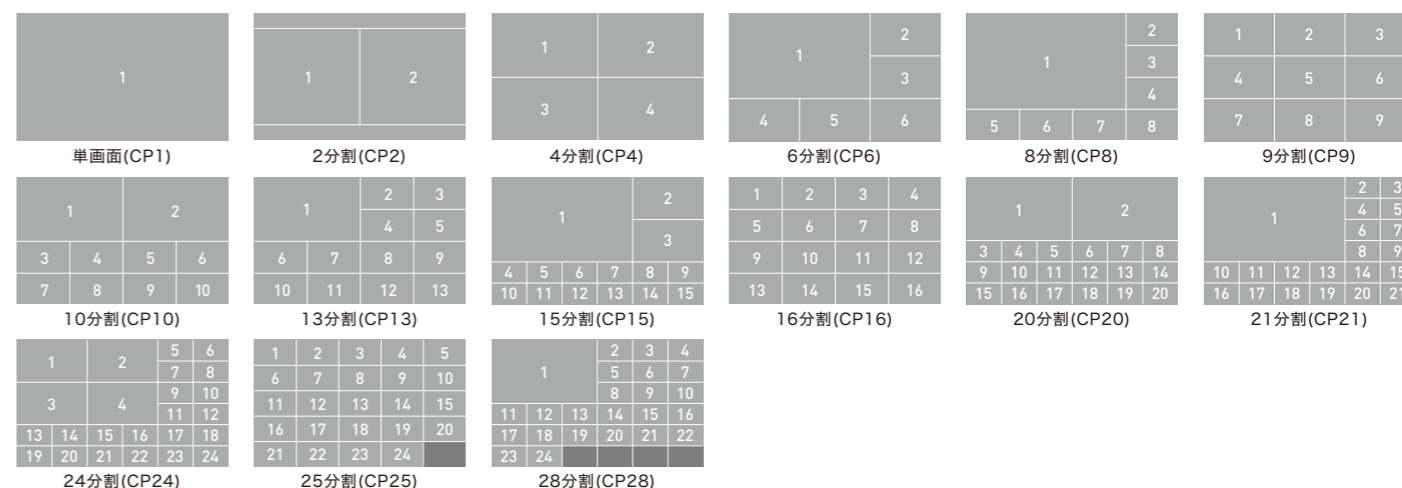


会議のタイプに合わせて画面レイアウトが選べる

分割画面レイアウトの選択

接続する拠点数に応じて分割画面レイアウトが自動的に選択されます。レイアウトは手動で変更することも可能です。

- 分割画面レイアウトの表示は接続している拠点数までになります。
- 画面レイアウトは全拠点同じものになります。



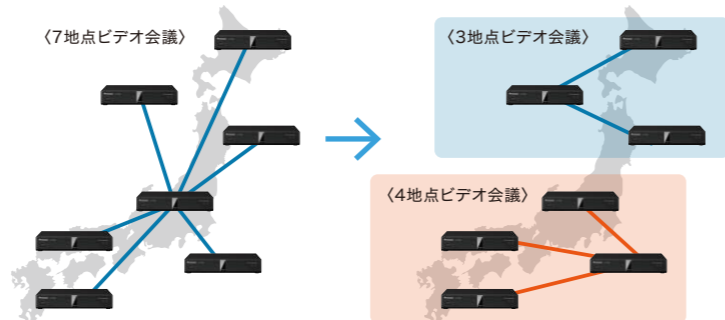
メイン表示の切り替え

分割画面レイアウトに加えて、メイン表示(上記レイアウト図の1にあたる画面)の機能を組み合わせることで、会議のタイプに合わせて柔軟に運用することができます。

拠点指定 指定した拠点をメイン表示に指定。	音声切替 1 最も音量が大きい拠点をメイン表示に指定。	音声切替 2 自拠点の映像をメイン表示に、最も音量が大きい拠点を優先順位2に指定。	表示位置指定 各拠点ごとに固定の表示位置を指定。
-------------------------------------	---	---	--

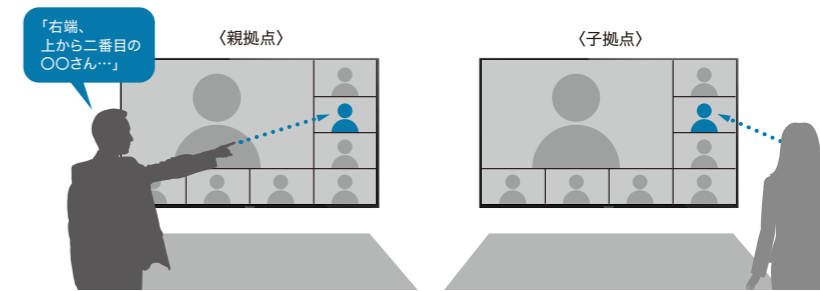
柔軟な組み合わせで多地点ビデオ会議を開催可能

全機種本体にMCU機能を内蔵しており、どの地点からでも多地点ビデオ会議の開催が可能です。多地点ビデオ会議を開催する地点が都度変わっても、参加地点の機器だけで開催できるので、フレキシブルな運用ができます。



親拠点と子拠点で同じ分割画面の表示が可能

親拠点も子拠点も接続している全拠点の様子を分割画面に表示可能です。共通の画面を見て会議ができ、拠点間の意思疎通をスムーズにします。



多地点ビデオ会議で、1対1通話ができる

拠点間を常時接続し、遠隔地であっても隣のオフィスのような感覚でコミュニケーションがとれる環境を実現することができます。さらにHDコムは、複数の拠点を常時接続しているなかで、親拠点と子拠点の間の、1対1通話を実現します。

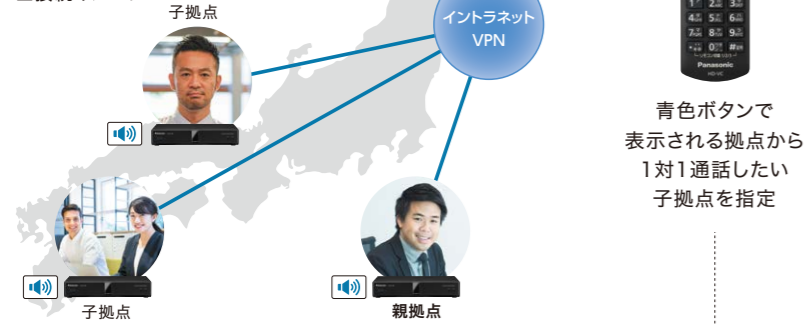
多地点接続 多地点通話

話をした音声は、多地点接続している全ての拠点に聞こえる。



多地点通話のレイアウト例
※親拠点と子拠点の4分割 (CP4)

■接続イメージ



- 1対1通話は、親拠点と親拠点が指定した子拠点間で可能です。子拠点からの1対1通話の操作や、子拠点同士での1対1通話ではできません。
- 1対1通話の相手として指定できる拠点は子拠点として接続している、HDコム/HDコムモバイル/HDコムLive/Web/ハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックスです。Web/ハイブリッドモードで接続しているWeb会議のパソコンは、1対1通話の相手として指定できません。
- 1対1通話中に、コンテンツ共有することもできます。コンテンツ共有をしても、1対1通話の状態は継続します。

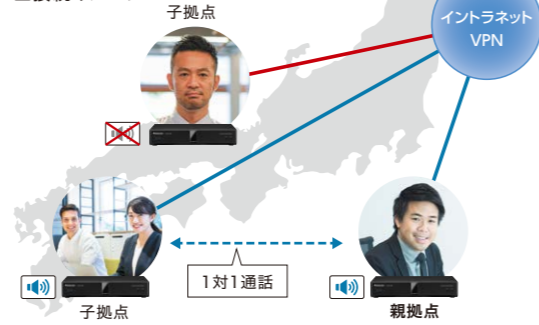
多地点接続 1対1通話

話をした音声は、1対1通話をしている拠点間だけで聞こえる。



1対1通話のレイアウト
※親拠点と子拠点の2分割 (CP2)

■接続イメージ

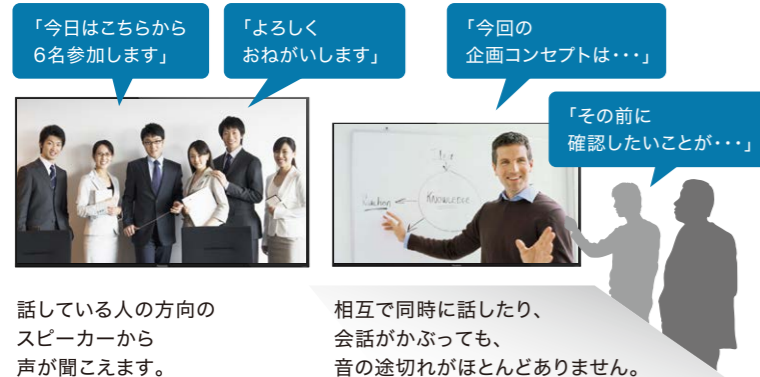


リモコンで簡単に切り替え (青色ボタン)

青色ボタンで表示される拠点から1対1通話したい子拠点を指定

同時に話してもクリアに聞こえる

広帯域ステレオでの全二重音声により、クリアで広がりのある高音質を実現します。独自のエコーキャンセラーがエコーやハウリングを防ぎ、同時に話しても音の遅延や途切れが少なく、相手がそこにいるかのような自然でスムーズな会話が行えます。



話している人の方向のスピーカーから声が聞こえます。

相互で同時に話したり、会話がかぶっても、音の途切れがほとんどありません。

- ステレオは、HDコム本体同士の1対1接続時になります。

高品位ステレオのHDコム専用マイク

4つの小型マイクを内蔵し、発言者の話す方向や位置が、聞く側のスピーカーへと反映される方向認識機能を備えています。

- 集音範囲: 360°



バウンダリーマイクロホン (デジタル)
KX-VCA001 (別売)

- 集音範囲は使用する環境の騒音レベルによって異なります。

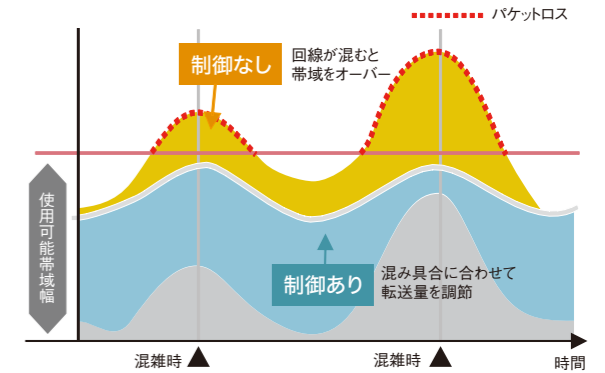
ストレスなく会議を進行できる

帯域推定機能 (AV-QoS) でパケットロスの発生を防ぎ、前方誤り訂正と自動再送制御の併用で、パケットロスの修復も可能です。通信開始後の帯域低下時も、回線状況に合わせ最適な通信を継続します。映像と音声は1地点あたり256kbpsまで保持。低帯域接続時でも映像の乱れや音声の途切れを抑え、安定した接続を実現します。

- 前方誤り訂正 (FEC) は、HDコムモバイルではサポートしていません。

帯域推定機能

帯域推定機能でネットワークの混み具合を高精度に推定し、データ転送量を制御することによりパケットロスの発生を防ぎます。利用者のトラフィックの増減により利用可能な帯域が常に変動するインターネットでも映像の乱れや音途切れを抑えます。



■混雑した回線での比較



AV-QoSなし 映像の乱れが発生しやすい。

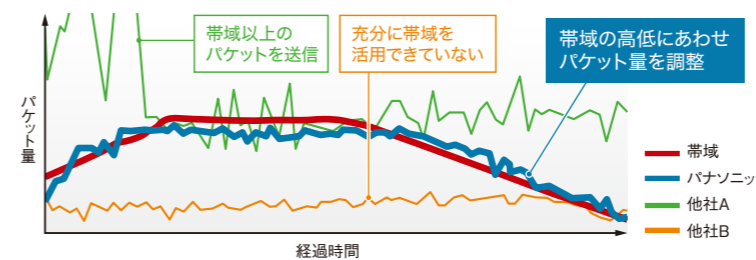


AV-QoSあり 映像の乱れが少ない。



帯域変動時の高い追従性により、安定した映像・音声を実現

HDコムは、帯域推定機能 (AV-QoS) により、利用者のトラフィックの増減で常に変化する帯域にあわせ、パケット量を細かく制御し、継続的に帯域変動にあわせて追従します。パケットロスの発生を抑えることで、映像や音途切れが発生しにくい、安定した接続環境を実現します。



- 図はパケットの変化をわかりやすく示したイメージ図です。



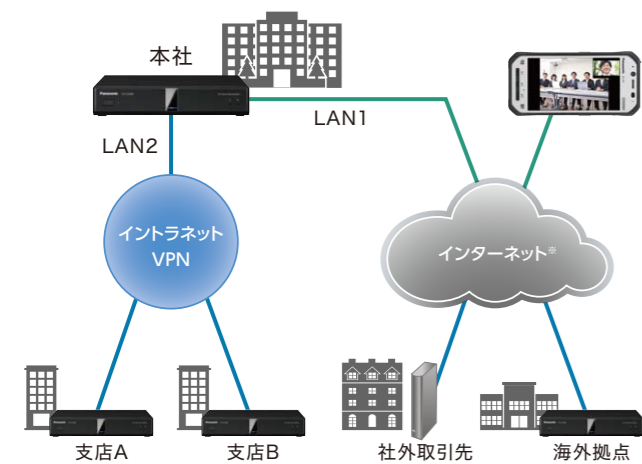
他社
帯域に見合わないパケット量がパケットロスの原因に



パナソニック
帯域にあわせた最適な画質・音質を送信

社外の取引先や海外拠点とも同時につながる

KX-VC2000J/KX-VC1600Jはイントラネット/VPNとインターネット回線の同時接続に対応しているため、社内と社外をつないだビデオ会議システムを構築できます。社外の取引先や海外拠点とビデオ会議をするための、高額な機材投資は必要ありません。



※HDコム専用接続サービスつながるねっと、グローバル固定IP

モバイル機器を使ってビデオ会議に参加できる

Windows/iOS/Android™の端末を利用して、出張先や自宅からビデオ会議への参加が可能。時間や場所にとられないビジュアルコミュニケーションが実現できます。



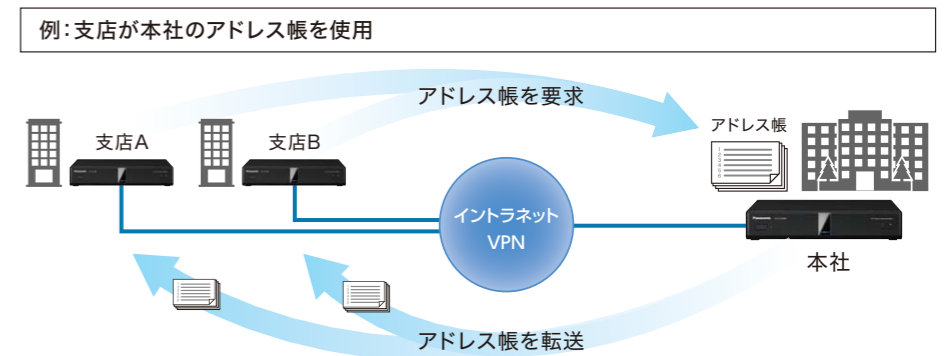
HDコムモバイル入手方法
Windows/パソコン、iOS端末およびAndroid™端末を使ってビデオ会議をするにはHDコムモバイルが必要です。HDコムモバイルは下記ホームページより入手できます。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/visual/lineup/hdcommobile>

●ご利用にあたり、アクティベーションキーが必要です。詳しくは20ページのHDコムモバイルをご覧ください。

アドレス帳の一元管理が可能

特定の拠点のHDコムのアドレス帳を、ネットワークを通じて他の拠点のHDコムに転送して使用できます。HDコム本体のアドレス帳の一元管理が可能となり、運用管理の効率化を実現します。

- イントラネット/VPNにおいて有効です。
- アドレス帳の更新は差分更新ではなく、全件の上書き更新です。



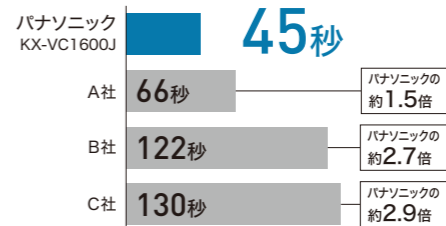
起動・シャットダウンの待ち時間を短縮

電源を入れてからのシステム起動時間が短いため、速やかにビデオ会議を開始できます。また、電源を切った後の待ち時間がなく、効率的な会議運用を実現します。



起動時間比較

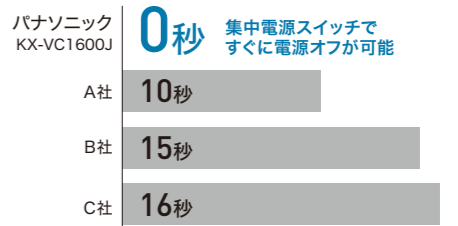
電源を入れ、画面が表示されて発信操作が可能になるまでの時間を測定。(各社HD機種で比較)



●KX-VC2000Jは約60秒、KX-VC1300Jは約42秒になります。

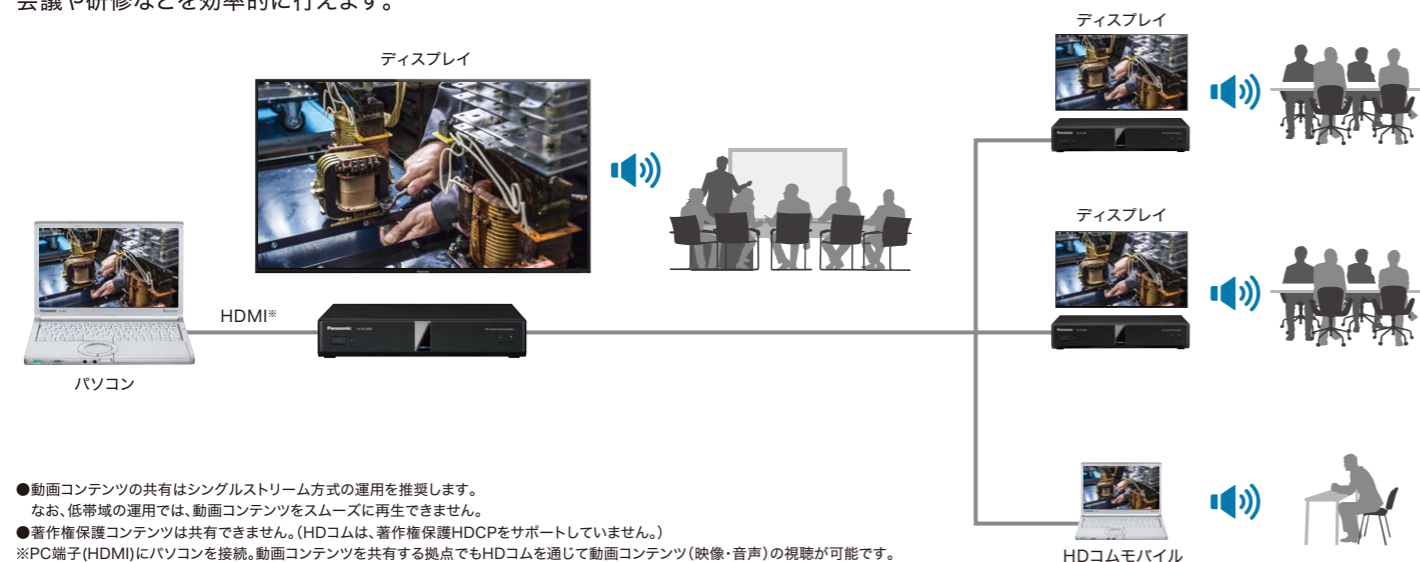
終了時間比較

HDコムに接続時、集中電源スイッチ付きテーブルタップの電源スイッチで切った後電源ランプが消えるまでの時間を測定。(他社機については、電源を切った後の時間、またはシャットダウンを選択してからの時間。各社HD機種で比較)



パソコン上の動画コンテンツを接続先と共有可能

HDMIケーブル1本でパソコン上の動画コンテンツ(映像・音声)を多地点と簡単に共有することが可能です。資料に加えて、動画コンテンツを活用することで理解度の高い会議や研修などを効率的に行えます。



- 動画コンテンツの共有はシングルストリーム方式の運用を推奨します。なお、低帯域の運用では、動画コンテンツをスムーズに再生できません。
- 著作権保護コンテンツは共有できません。(HDコムは、著作権保護HDCPをサポートしていません。)
- ※PC端子(HDMI)にパソコンを接続。動画コンテンツを共有する拠点でもHDコムを通じて動画コンテンツ(映像・音声)の視聴が可能です。

自動で電源を制御できる

HDコム本体の電源ON/OFFは本体の電源ボタンやリモコン操作だけでなく、HDコム本体の設定により自動で行うことができます。夜間の自動電源OFFや、平日のみ自動電源ON等の運用が可能です。また、シリアルインターフェイス(RS-232C端子)を通じて外部から制御することも可能です。

- HDコム本体が通信中や録画中などの時には、自動電源OFFは作動しません。

電源の状態確認位置



●電源がHDコム本体にACアダプターから供給された時点で、待機状態になります。

■運用例

1. 就業時間運用

毎朝9時に自動で電源がONになり、毎夜19時には自動的に電源がOFFになる設定。



2. 平日運用

毎週月曜日の6時に自動で電源がONになり、毎週土曜日の0時には自動的に電源がOFFになる設定。



状態	電源ランプ	状態ランプ	操作
ACアダプター通電	● 赤点灯	□ 消灯	
電源ON～起動	●→● 緑点減→緑点灯	■ 青点減	本体・リモコン電源ボタンの長押し
通信中	● 緑点灯	■ 青点灯	
スタンバイ中	● 緑点灯	□ 消灯	リモコン電源ボタンの短押し
シャットダウン中	● 緑点減	□ 消灯	本体・リモコン電源ボタンの長押し

簡単・スムーズに多地点ビデオ会議を開始

プロフィールを登録

毎回接続先が決まっている定例会議や朝会・研修などの接続先番号を予め登録することができます。リモコンを使って素早く・簡単に開始することができます。接続先だけでなく、画面レイアウトや入室制限、接続先の音声といった運用に合わせた設定を事前に登録しておくこともできます。プロフィールは、20件まで登録可能です。

選択	ID	接続先	接続モード
<input checked="" type="checkbox"/>	1	ホンシャ	標準 (SIP)
<input checked="" type="checkbox"/>	2	サッポロ	標準 (SIP)
<input checked="" type="checkbox"/>	3	センダイ	標準 (SIP)
<input type="checkbox"/>	4	ナゴヤ	標準 (SIP)
<input type="checkbox"/>	5	オオサカ	標準 (SIP)
<input type="checkbox"/>	6	ヒロシマ	標準 (SIP)
<input type="checkbox"/>	7	タカマツ	標準 (SIP)
<input type="checkbox"/>	8	フクオカ	標準 (SIP)
<input type="checkbox"/>	9	ナハ	標準 (SIP)
<input type="checkbox"/>	10	シンガポール	標準 (SIP)

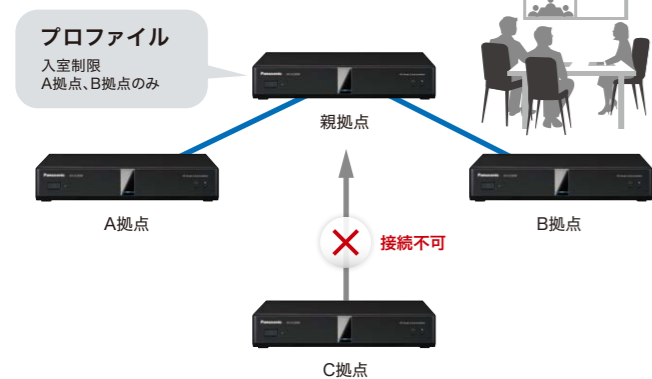
- 設定項目
- 会議名
 - 入室制限の有無
 - 拠点名表示の有無
 - 接続先
 - 接続先の音声(合成(自動選択)/合成(固定拠点)/全ミュート)
 - MCU動作モード
(ディスカッションモード/プレゼンテーションモード)
 - レイアウト(ディスカッション)
 - レイアウト(プレゼンテーション)
 - メイン表示(ディスカッション)
 - メイン表示(プレゼンテーション)
 - 自映像の表示位置
 - 表示位置の設定



■ プロファイル機能例

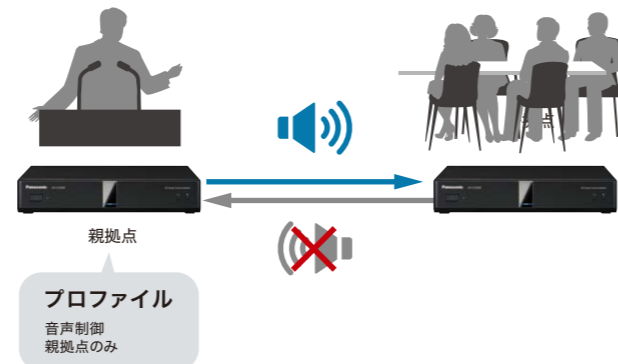
入室制限機能

重要なビデオ会議に誤って関係の無い拠点が参加することを防げます。



接続先の音声制御機能

朝会や研修会などで、全ての視聴拠点側ごとに音声ミュート操作をしなくても、親拠点からの音声のみにできます。



リモコンで簡単発信

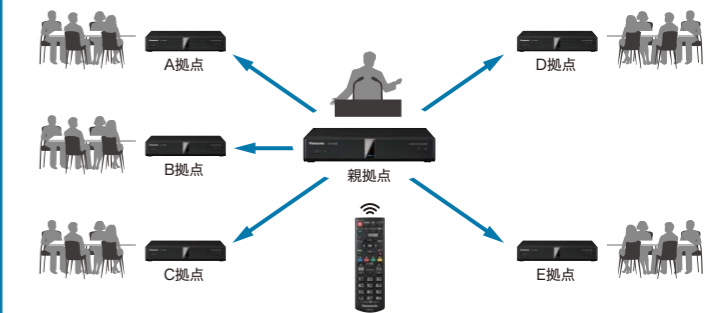
接続頻度の高いアドレスやプロフィールは、ワンタッチダイヤル(最大5ヶ所)に登録できます。ワンタッチダイヤルを使うことで、リモコンで素早く・簡単にビデオ会議を開始することができます。



ワンタッチダイヤル1-5はホーム画面下部に表示されます。

リモコンから簡単発信

付属のリモコンで簡単に発信ができます。操作は、最初にワンタッチダイヤル(1~5)を押し、次に開始を押すだけなので簡単です。



利用シーンに応じた運用が可能

HDコムに関する各種設定を、基本設定に加えて最大9つのパターンとして登録しておくことができます。リモコンの操作でパターンを選択するだけで、かんたんに異なる運用を実現することができます。たとえばHDコムを複数の会議室で使う場合に、会議室にあわせてIPアドレスやHDコムに接続するディスプレイの数など都度設定変更するといったことをすることなく、運用を変更できます。



- パターンを選択後、HDコムは自動的に再起動します。
- アドレス帳とプロフィールは基本設定および9つのパターンで共通です。

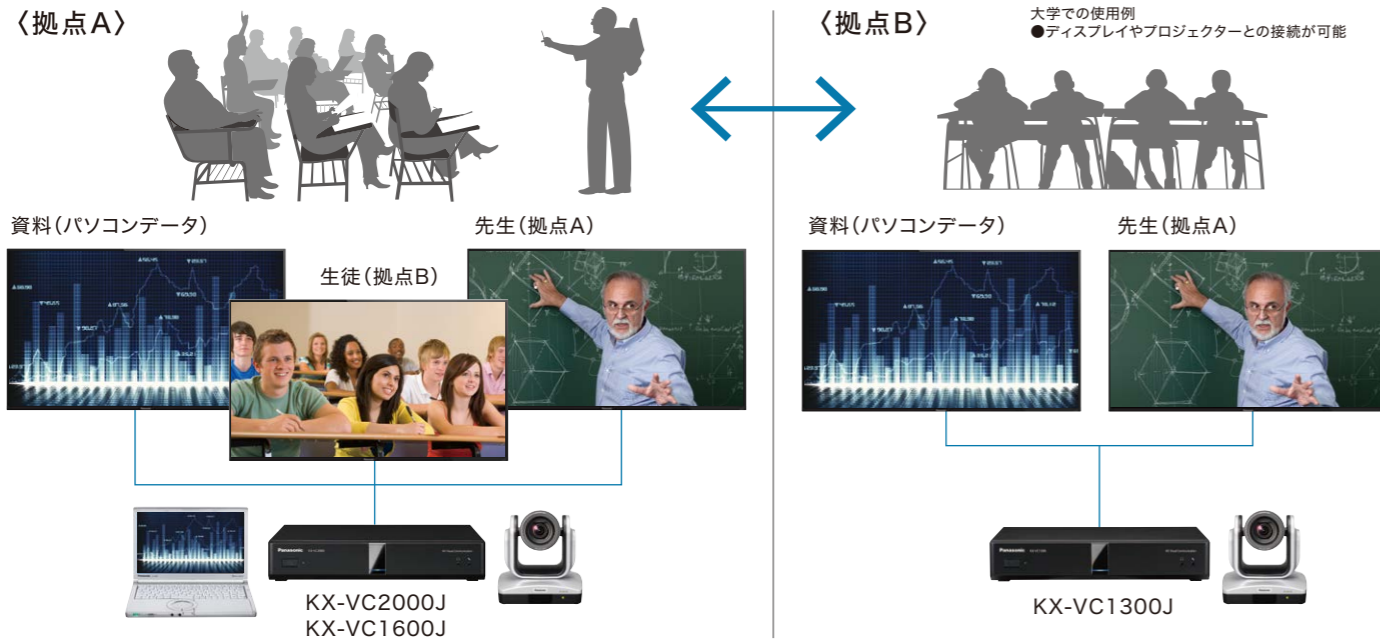
現在の設定	発信元ID	拠点名	接続モード
<input checked="" type="radio"/>	—	Tokyo	標準
<input type="radio"/>	1	room1	標準
<input type="radio"/>	2	room2	標準
<input type="radio"/>	3	room3	標準・つながるねっと
<input type="radio"/>	4	room4	標準
<input type="radio"/>	5	#未使用#	
<input type="radio"/>	6	#未使用#	
<input type="radio"/>	7	#未使用#	
<input type="radio"/>	8	#未使用#	
<input type="radio"/>	9	#未使用#	

正確なコミュニケーションを可能に

自拠点映像とパソコン資料の同時送信や、相手側映像とパソコン資料を同時受信できるH.239/BFCPデュアルストリームに対応します。さらに、KX-VC2000J/KX-VC1600Jはパソコン資料・相手側映像・自拠点映像を3台のモニターそれぞれに映しだすトリプルモニター機能※を内蔵します。パソコン資料も大画面に表示することができるので、わかりやすく理解度の高いビジュアルコミュニケーションができます。 ※KX-VC1300Jはデュアルモニターに対応します。



大学での使用例
●ディスプレイやプロジェクターとの接続が可能



効果的な遠隔講義や研修環境をスムーズに構築

講師が受講者を確認しながら講義・研修を進行できる「プレゼンテーションモード」と、質疑応答や意見交換がスムーズにできる「ディスカッションモード」の切り替えで、進行状況に応じた効率的な遠隔講義や研修を実現します。



講師は各拠点の受講者の状況・様子を確認しながら講義を進行できる。

受講者からの質疑や意見の確認時は全拠点で同じ映像を表示。

直感的な操作ができる

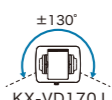
まるでテレビのリモコンのようなユーザーフレンドリーなボタン配置で、直感的な操作が可能です。パソコンやサブカメラの切り替えも、ワンタッチで簡単です。また、HDコムのリモコンで、自拠点と相手拠点のHDコム専用カメラのパン、チルト、ズーム操作も可能です。なお、HDコム専用カメラをサブカメラとして接続時、シングルストリーム通信でサブカメラ共有を行った際に、カメラを操作できます。

■カメラ操作



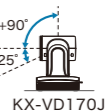
パン

HDコム専用カメラのレンズが左右に回転します。
KX-VD170J:±130°
GP-VD131J:±100°



チルト

HDコム専用カメラのレンズが上下に回転します。
KX-VD170J:+90°/-25°
GP-VD131J:±20°



ズーム

光学ズームで最大12倍までクローズアップできます。
KX-VD170J:光学12倍
GP-VD131J:光学3倍

ナビキー (パン、チルトが可能)

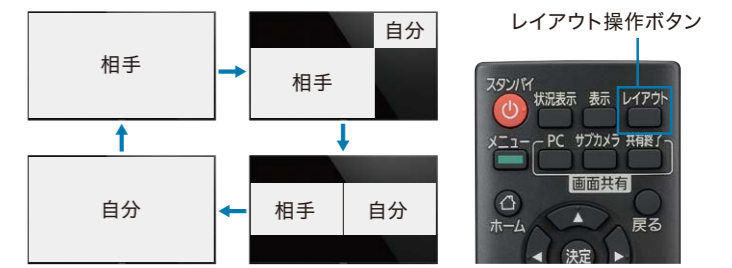


ズームキー (ズームが可能)

■PC共有操作



■レイアウト操作



製品や部品を細やかにチェック

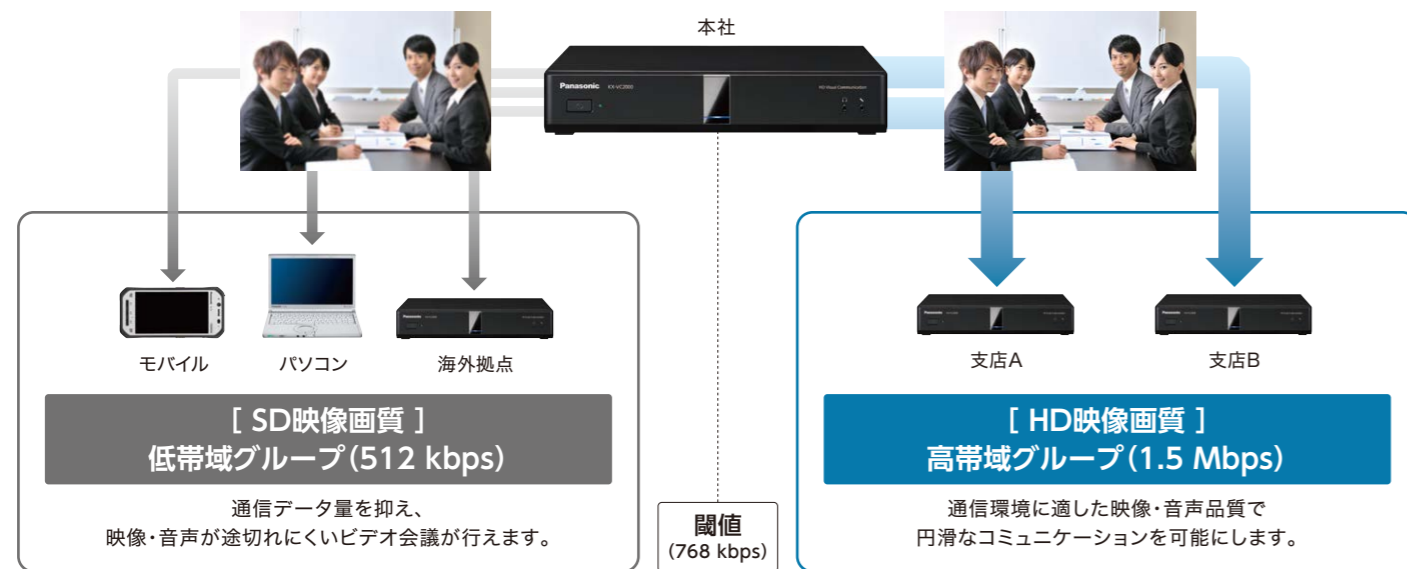
製品や部品やサンプルなど、もう1台のサブカメラで撮った映像を相手に見せながら打ち合わせができます。素材の質感など、肉眼では見えにくい細かな部分も鮮明に表示できます。



通信環境にあわせた映像を送受信

異速度伝送

HDコムとHDコムモバイル(Windows/iOS/Android™)の接続時、接続する端末の通信帯域や性能に合わせて最適画質で運用する「異速度伝送」に対応しています。接続端末に応じた設定を事前にすることで、最も通信速度が遅い端末の通信帯域に接続している全ての端末が影響されることなく、各端末の通信環境に合わせてHD画質、SD画質混在での接続を実現します。



通信状況確認

ビデオ会議運用中の送受信帯域やパケットロス率などの通信状況がリモコン操作で簡単に確認できます。

■機器情報表示/相手拠点画面 接続拠点の状況をリアルタイムに確認

機器情報の表示	
左右ボタンで他の拠点を表示します	接続先 : 東京本社
「状況表示」を押すと接続状況を表示します	機器名 : KX-VC2000_HDVC-MPCS 5.00
※通信グループ内で最も低い帯域の拠点です	アドレス : 192.168.0.100
1/3	接続モード : 標準 (SIP) 暗号通信 : 有効
戻る	音声コーデック (TX/RX) : AAC-LD / AAC-LD
終了	調停コーデック (TX/RX) : H.264 (HP/PktMode1) / H.264 (HP/PktMode1)
	映像コーデック (TX) : H.264 (HP/PktMode1)
	解像度 (TX/RX) : 1920x1080 / 1920x1080
	調停帯域 : 9.0 Mbps
	帯域 (TX/RX) : 4.8 Mbps / 8.9 Mbps
	ロス率 (RX) : 0.0 % フレームレート (RX) : 60.0 fps
	(サブストリーム)
	調停コーデック (TX/RX) : H.264 (BP/PktMode1) / -
	映像コーデック (TX) : H.264 (BP/PktMode1)
	解像度 (TX/RX) : 1920x1080 / -
	帯域 (TX/RX) : 4.0 Mbps / -
	ロス率 (RX) : - フレームレート (RX) : -

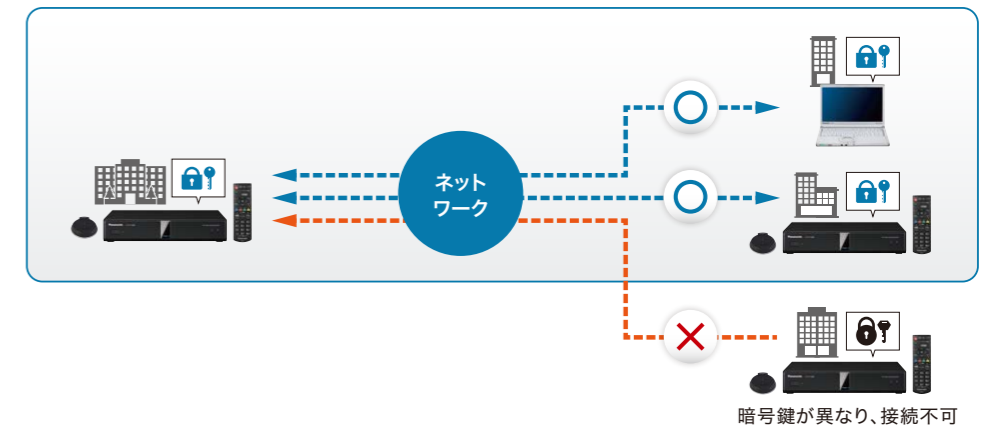
青 赤 次ページ 緑 拠点選択 黄 手元/ノイズ抑圧[OFF]

ビデオ会議通信の安全性を守る

暗号通信

●対応するモード:標準モード(SIP)、つながるねっとサービスモード

HDコムおよびHDコムモバイルは、暗号鍵の設定をすることでパケットを暗号処理し、ビデオ会議の内容の盗聴や改ざんを防止することができます。また、暗号鍵が一致しないと接続できないため、誤った接続や不正着信を防ぐこともできます。



LANジャックを分離

●対応するモード:標準モード(SIP、H.323)、つながるねっとサービスモード

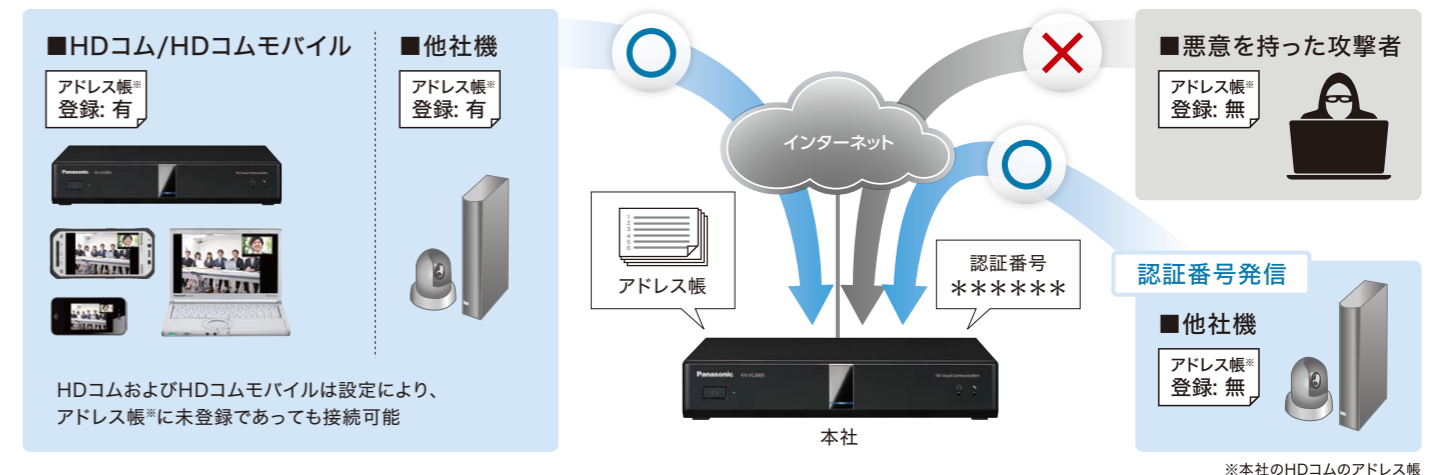
デュアルネットワーク機能をサポートするKX-VC2000J/KX-VC1600Jは、LANジャックが2つあり、LAN1とLAN2の間ではパケットが転送されないため、通信の安全性を保つことができます。



アドレス帳にない接続先を拒否

●対応するモード:標準モード(SIP、H.323)、つながるねっとサービスモード

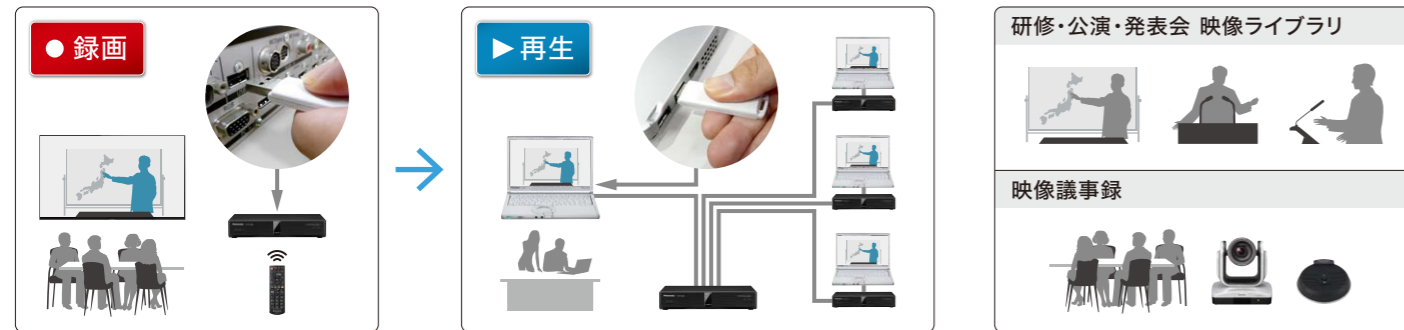
暗号機能に加えて、アドレス帳に登録がない拠点からの着信を拒否することも可能です。インターネットを通じて社外接続する場合、外部からの誤った接続や不正接続の防止に有効です。また、不正接続のセキュリティ対策として、認証番号による着信許可機能を併用することもできます。認証番号による着信許可機能は標準モード(SIP、H.323)で動作します。



会議の様子を録画・共有

USB メモリーを使った簡単録画

ビデオ会議の様子をHDコムに接続したUSBメモリーに録画することができます。
相手拠点はもちろん、自拠点の映像も音声つきで録画することができ、録画開始もリモコンで簡単にできます。
録画したデータはパソコン上で再生することができ、HDコムを通じて複数の拠点と簡単に共有することも可能です。
また、録画は、相手拠点とビデオ会議を開催していないときでも可能です。打ち合わせ内容を映像議事録としても活用できます。



■主な特長

- ・最大720/30pのHD録画
- ・選べる録画モード(長時間・標準・高画質)
- ・リモコンで簡単録画

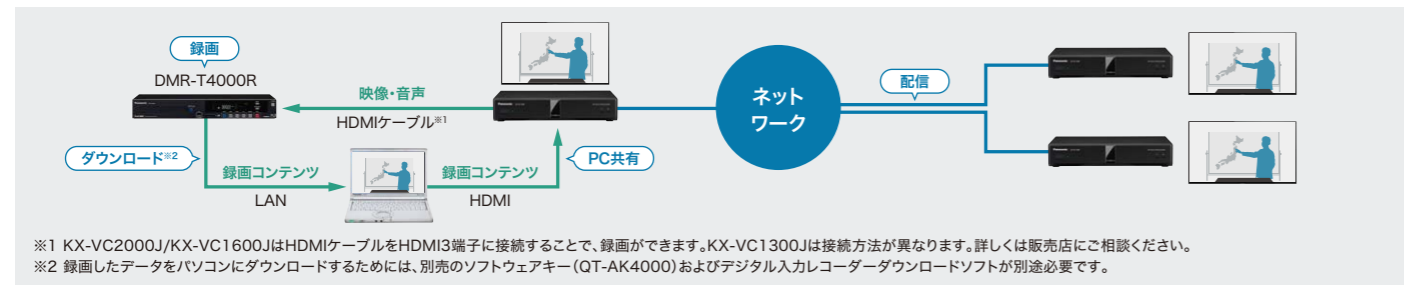
■録画仕様

映像	記録方式	H.264 Highプロファイル
	解像度	720p(固定) 最大30フレーム/秒
	映像レート	約512kbps:長時間モード/約1Mbps:標準モード(初期値)/約2Mbps:高画質モード
音声		MPEG-4 AAC-LC 64kbps(モノラル)
ファイル	形式	mp4 Version 1.0 (Windows Media Player, QuickTime application programで再生可能)
	サイズ	1ファイル:最大4時間(長時間モード/標準モード)、最大2時間(高画質モード) (容量の目安 512kbps:約1.1GB、1Mbps/2Mbps:約2GB) ※最大時間経過後は、別ファイルで録画継続
	ファイル名	vc_開始日(年月日)_開始時刻(時分秒).mp4(保存先はルートフォルダ)
USBメモリー		USB2.0サポート、SDカードClass10規格相当以上の書き込み速度 FAT32フォーマット

デジタルレコーダーを使ったしっかり録画

より高い画質でビデオ会議を録画、共有したい方にはデジタルレコーダー録画をお勧めします。
フルHDで長時間の議事録の保存ができ、配布用のディスクの作成や、パソコンを使用して複数の拠点で録画データの共有が可能です。

■会議録画の機器構成例 ※DMR-T4000Rの例



デジタル入力レコーダー DMR-T4000R

- ・会議記録モードで他拠点音声も記録
- ・BDダイレクト記録で、会議終了と同時にディスク完成
- ・BDXL対応、1TB HDD搭載で長時間のビデオ会議録画も安心

- 動画コンテンツの共有はシングルストリーム方式の運用を推奨します。なお、低帯域の運用では、動画コンテンツをスムーズに再生できません。
- 著作権保護コンテンツは共有できません。(HDコムは、著作権保護HDCPをサポートしていません。)

デジタル入力レコーダー DMR-MC500

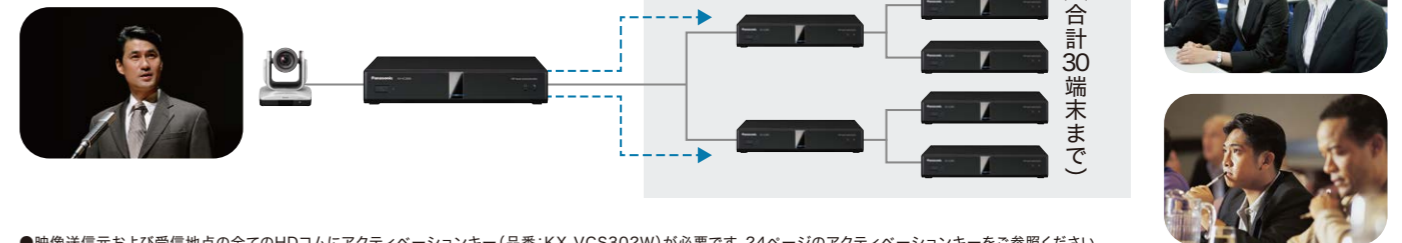
- ・タイムスタンプ機能で、記録日時を映像へ焼き付け記録
- ・タイトル自動付与で、日時での検索性向上
- ・汎用ファイルシステム(exFAT/FAT32)の外付けHDDへダビングでき、パソコンで編集が可能

朝会・方針発表・研修会に便利な映像配信

最大30地点への片方向映像配信

KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300Jを映像送信元の端末にすると、
高額な管理サーバーやMCUを使用せずに、最大30地点までの片方向の多地点配信が可能です。
朝礼やセミナーなど目的に応じて手軽に映像を配信できます。
カメラ映像を順々に配信することで、映像送信地点へのアクセス集中を防ぎ、快適な回線環境で多地点配信を行えます。

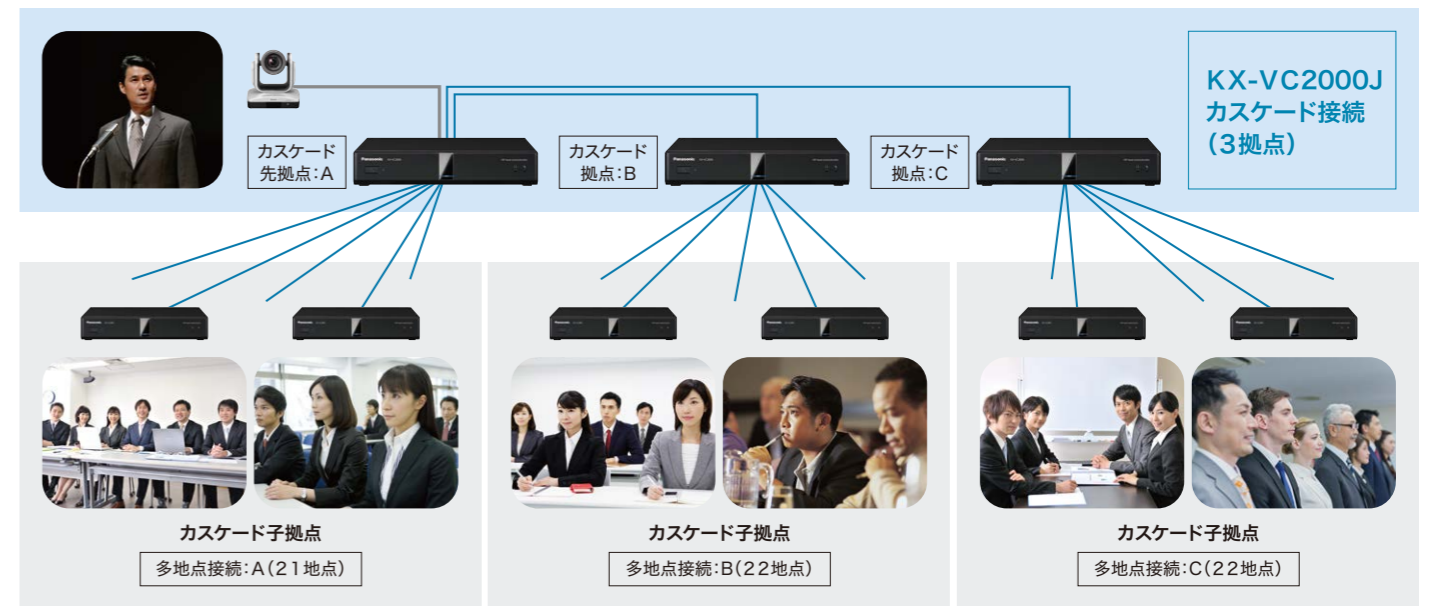
映像送信元



- 映像送信元および受信地点の全てのHDコムにアクティベーションキー(品番:KX-VCS302W)が必要です。24ページのアクティベーションキーをご参照ください。
- 映像送信元の端末として、KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300J/KX-VC600/KX-VC300が使用できます。
- ただし、KX-VC600/KX-VC300を映像送信元の端末として使用する場合、別途サーバーが必要です。
- 受信地点の端末として、KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300J/KX-VC600/KX-VC300が使用できます。HDコムモバイルは使用できません。
- HDコムの接続モードは標準モードに対応します。つながるねっとサービスモードでは使用できません。
- 片方向配信には、メッシュ型のネットワークが必要です。

最大68地点へ片方向映像配信

KX-VC2000Jのカスケード接続機能と多地点接続機能により、最大68地点への片方向の映像配信が可能です。
質疑応答ができる音声双方向通信やHDコムモバイル、つながるねっと接続にも対応しています。



- カスケード接続機能はKX-VC2000Jのみの機能です。カスケード先拠点およびカスケード拠点の端末として、KX-VC2000Jが使用できます。
- カスケード子拠点の端末として、KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300J/KX-VC600/KX-VC300/HDコムモバイルが使用できます。
- カスケード接続の運用を行う際、話者以外は常にマイクのミュートが必要です。また、コンテンツ共有はシングルストリーム方式で動作します。
- カスケード接続の運用時、カスケード拠点とカスケード子拠点において異速度通信機能は利用することができません。
- AV-QoSは、親機〜子機間で独立して動作します。カスケード先拠点/カスケード拠点/カスケード子拠点の全ての端末間でのAV-QoSのやり取りができないため、映像の乱れが発生する場合があります。

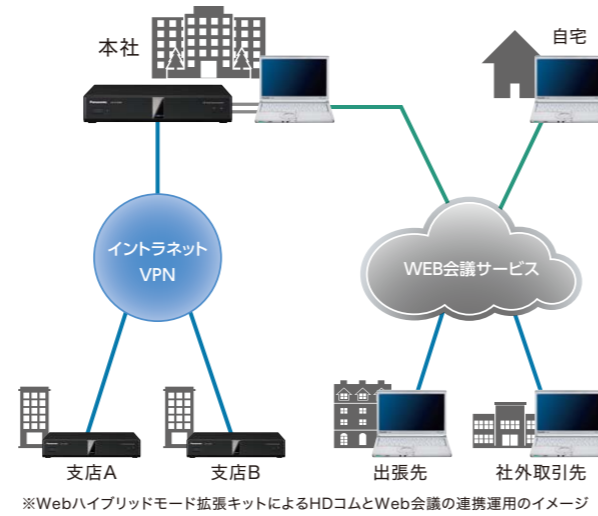
Web会議サービスとの連携

ビデオ会議とWeb会議の混在利用が可能に！

ビデオ会議HDコムとWeb会議の連携で、社内と社外を同時につないだ会議が可能です。Web会議を使って自宅や出張先から社内のHDコムの会議に参加できるため、社内外のコミュニケーションを活性化し、「働き方改革」の実現に貢献します。



■使用シーン



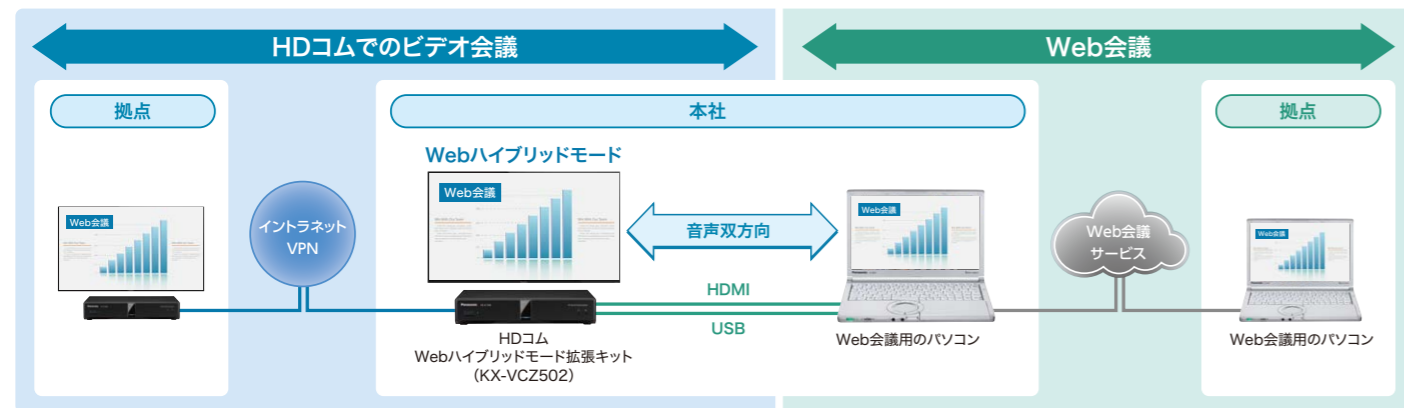
Webハイブリッドモード拡張キット

HDコムにWebハイブリッドモード拡張キットを導入するだけで、HDコムとWeb会議を連携させた会議を、簡単に実現できます。HDコムとWeb会議用のパソコンをHDMI/USBケーブルで接続することで、双方向音声コミュニケーションが可能になります。^{※1}また、HDコムからPC共有操作を行うことでWeb会議参加者の映像をHDコムで共有できます。さらにWeb会議の資料共有で、HDコムとWeb会議の参加者全員が同じ資料を確認しながら、会議ができます。^{※2}

※1 Web会議用のパソコン上で、マイク・スピーカーデバイスに関する設定が必要です。※2 HDコムの参加者の映像や資料をWeb会議用のパソコンに表示することはできません。

簡単接続	HDコムとWeb会議用のパソコンをケーブルでつなぐだけでOK	スムーズなやり取り	Web会議との音声双方向コミュニケーションと資料共有が可能	広がる選択肢	既にご利用している、または導入予定のWeb会議サービスと連携可能
-------------	--------------------------------	------------------	-------------------------------	---------------	----------------------------------

■運用例：本社のWeb会議用のパソコン上で、Web会議の資料共有をおこなった場合の運用イメージ



■仕様

対応OS(パソコン)	Windows 8.1、10
USBポート	USB2.0以降
音声	音声方式 PCM・16bit・32kbps

- Web会議用のパソコンを接続するHDコムには、Webハイブリッドモード拡張キット(品番:KX-VCZ502)が必要です。
- Webハイブリッドモード拡張キット(品番:KX-VCZ502)同梱の専用USB変換ケーブル(30cm)、および市販のUSBケーブル(A-Bタイプ)でHDコムとパソコンを接続します。
- パソコンにUSBケーブルを接続するだけで、ドライバーをインストールすることなくご利用いただけます。
- HDコムの参加者の映像や資料をWeb会議用のパソコンに表示することはできません。

Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックス

Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックスを介してWeb会議をHDコムの1拠点として接続することで、HDコムとWeb会議を連携させた会議を実現できます。

Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックスとWeb会議用のパソコンをHDMI/USBケーブルで接続することで、双方向映像・音声コミュニケーションが可能になります。^{※1※2}

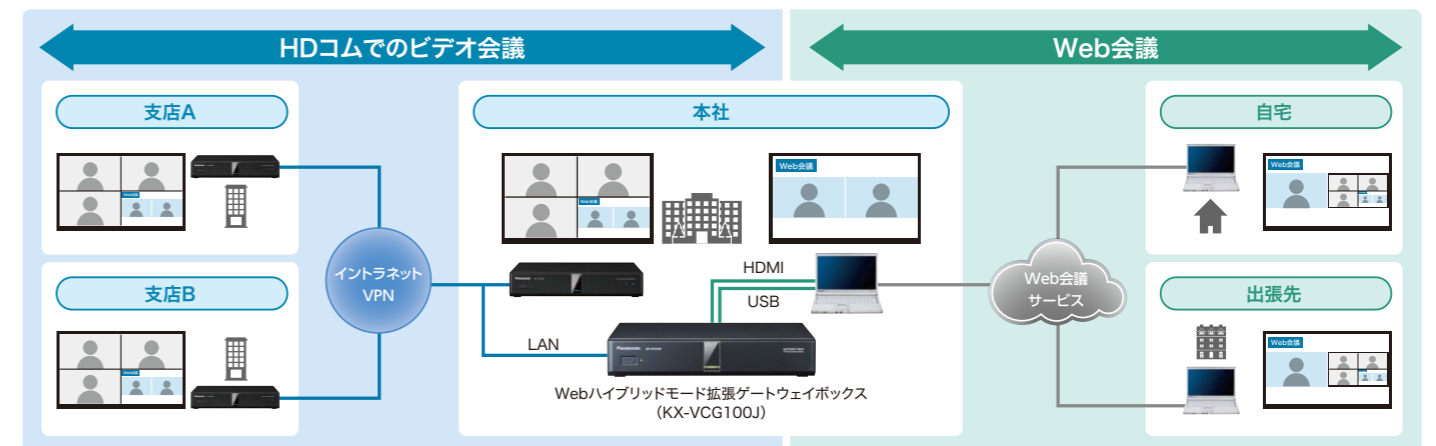
HDコムとWeb会議で、お互いの参加者の映像や資料を確認しながら、会議ができます。

※1 Web会議用のパソコン上で、カメラ・マイク・スピーカーデバイスに関する設定が必要です。

※2 Web会議に必要な機能があります。

- ・Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックスに接続するWeb会議パソコンで自映像(HDコムの映像)を非表示にする機能
- ・Web会議パソコンで指定した拠点の映像(HDコムの映像)を拡大表示する機能

■運用例：HDコムとWeb会議のパソコンで、お互いの参加者の映像を共有している場合の運用イメージ



- Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックス(品番:KX-VCG100J)同梱の専用USB変換ケーブル(30cm)および市販のUSBケーブル(A-Bタイプ)でWebハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックスとパソコンを接続します。
- パソコンにUSBケーブルを接続するだけで、ドライバーをインストールすることなくご利用いただけます。
- Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックスは、HDコムに隣接設置して運用します。なお、HDコムに同時接続できるWebハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックスは、1台です。

■Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックス(KX-VCG100J)の仕様

端末方式	SIP、H.323	入/出力端子	映像出力	HDMI×1(テレビ端子)、出力対応解像度:1920×1080i、1920×1080p
映像(ビデオ会議との通信)	画像圧縮方式 H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile(SNALUを除く)	ネットワーク	外部制御	RJ45×1(100BASE-TX 全二重)
	フレーム数 最大30フレーム/秒	外部制御	その他	RS-232C×1(メンテナンス用兼用)
音声(ビデオ会議との通信)	音声圧縮方式 G.722(7.0 kHz@64 kbps)	USBホストモード(USBメモリ)		USB 2.0 ^{※2※3} ×1(ホストモード、デバイスモード)
デュアルストリーム方式	H.239(H.323)、BFCP(SIP)			バージョンアップ、インポート(構成データ、暗号データ、起動画面)、エクスポート(構成データ、暗号データ)
暗号化	SRTTP(AES 128 bit)、H.235(AES 128 bit)	接続モード		標準モード
映像(USB出力)	規格 UVC Version 1.0	外形寸法(幅×奥行き×高さ)		約320mm×約230mm×約61mm(突起部除く)
	映像方式 Motion JPEG	質量		約2.0 kg
	解像度 1280×720p(最大10fps)	使用電源		AC100~240V ^{※4} 、50/60 Hz
音声(USB出力)	規格 UAC Version 1.0	消費電力		最大時:25W、待機時:0.6W
	音声方式 PCM・16bits・32kbps	本体入力電源		DC24V、2.5A
対応OS(パソコン)	Windows 8.1、10	動作温度		0°C ~ 40°C
入/出力端子	映像・音声入力 HDMI ^{※1} ×1(PC端子)	動作湿度		10%~90%(結露なきこと)
	映像入力対応解像度:VGA、SVGA、XGA、HD、WXGA、SXGA、FWXGA、WXGA+、WXGA++、UXGA、WSXGA+、フルHD			

※1 HDCPIには対応していません。※2 給電能力:5V/500mA ※3 USBホストモード時はUSBメモリ用端子になります。※4 電源コードはAC100V専用です。

HDコム周辺機器を使い、Web会議が快適に！

HDコムにUSBデバイスモード拡張キットを導入することで、HDコムの周辺機器(専用カメラ/専用マイク/外部ディスプレイ/外部スピーカー)をWeb会議用パソコンの周辺機器として活用できます。複数人参加のWeb会議が快適に運用できます。

●HDコムにUSBデバイスモード拡張キット(品番:KX-VCZ501)が必要です。24ページのアクティベーションキーをご参照ください。

HDコムモバイル[※]

[※]HDコムモバイルは導入前に無償アクティベーションキーを使用して、HDコムと接続できるか確認をお願いいたします。

HDコム専用アプリケーション『HDコムモバイル』をインストールしたWindows/iOS/Android[™]の端末を利用して、出張先や自宅からビデオ会議への参加が可能です。時間や場所にとらわれないビジュアルコミュニケーションが実現できます。またHDコムモバイルは、社外だけでなく、社内のイントラネット/VPNで利用することもできます。なおHDコムモバイルは、デュアルストリーム受信(BFCP)に対応しています。

●ホームページより入手ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/visual/lineup/hdcommobile>



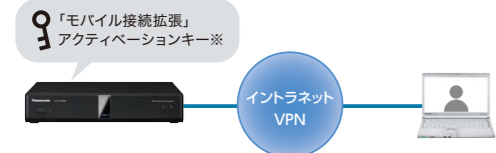
●図はKX-VC2000JもしくはKX-VC1600Jの場合です。
[※]HDコム専用接続サービスつながるねっと、グローバル固定IP

キャリア通信サービスによっては、データ通信制限によりHDコムモバイルを正常に利用できない場合があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

アクティベーションキーの選び方

HDコムモバイルは、モバイル端末に『HDコムモバイル』のアプリケーションのインストールおよび有償のアクティベーションキーが必要です。HDコムモバイルの接続台数や接続方法に合わせて、3つの方法から選択できます。

■HDコム本体にアクティベーションキー登録(標準モード接続時)
 モバイル端末数が多い場合に最適です。



■モバイル端末にアクティベーションキー登録(標準モード接続時)
 モバイル端末数が少ない場合に最適です。



■HDコム本体とモバイル端末にアクティベーションキー登録
 (つながるねっとサービスモード接続時)
 出張先や自宅など社外からの接続の場合に最適です。



[※]各アクティベーションキーについて、詳しくは24、25ページをご覧ください。

必要要件

HDコムモバイル Windows用	
CPU	Core i5(4スレッド)以上、メモリ: 2GB以上
OS	Windows 8.1(デスクトップ版のみ対象、モダンUI版は未サポート) Windows 10(デスクトップモードのみ対象、タブレットモードは未サポート)
ディスプレイ解像度	1366 x 768以上

●Intel Atom 等のCPU では、性能不足で正常に動作しませんのでご注意ください。Intel Core 以外のCPU では、動作確認を行っておりません。●シンクライアントなど仮想マシン/仮想OSといった環境での動作は、サポートしていません。●720pをサポートしているカメラが必要です。●ヘッドセットマイクまたはマイクスピーカー(エコーキャンセラー対応)での運用を推奨します。(PC内蔵のマイクやスピーカーやWebカメラ内蔵のマイクでの運用は、非推奨です。)

HDコムモバイル iOS用	
端末	64bit対応端末 iPhone 5s、iPad Air以降が対象(iPod touchは対象外)
OS	iOS 11.0-14.x、iPadOS 13.0-14.x

HDコムモバイル Android [™] 用	
CPU	Cortex-A9以上/NEON対応
OS	Android [™] 8.0- Android [™] 11.x

HDコムモバイルの最新の必要要件は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/visual/lineup/hdcommobile>

●キャリア回線を使った通信は、パケット量や通信速度が制限される可能性があります。詳しくはご契約のキャリアへお問い合わせください。●キャリア回線のネットワーク仕様により通信ができない場合や品質が劣化する場合があります。事前に無償の3ヶ月アクティベーションキーでお試し下さい。●HDコムモバイルは3Gでは帯域が足りなくなる恐れがあり、ご利用できません。●端末の特性により、HDコムモバイルの通信ができない可能性があります。また、テザリングを行った場合も通信ができない可能性があります。●HDコムモバイルのご利用には、映像と音声の送受信に256kbps以上(映像:QVGA(Android[™])/W432p(Windows)、音声:G.722モノラル時)の帯域が必要です。

システム仕様

HDコムモバイル	Windows用	iOS用、Android用
端末方式	SIP	
画像圧縮方式	H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile	H.264 Baseline Profile
音声圧縮方式	G.722、G.722.1C	G.722
デュアルストリーム	BFCP(SIP)受信	
暗号化	SRTP(AES 128bit)	
通信帯域	256 kbps ~ 2 Mbps	
対応解像度 ¹⁾	最大720p	
コンテンツ共有	PCのデスクトップ共有	—

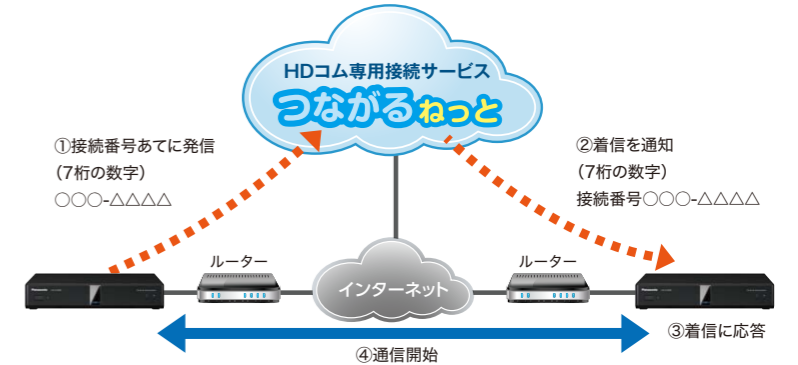
[※]1 HDコムモバイルの設定、端末仕様、およびネットワークの状況により変化します。

社内と社外でビデオ会議ができるネットワークサービス

つながるねっとサービス

つながるねっとサービスは、インターネット回線を使用してビデオ会議ができるHDコム専用のネットワークサービスです。簡単・安全・低コストでビデオ会議管理運用を行うことができます。

ご利用にあたり、基本的にHDコムには新規のインターネット回線とルーターが必要です。



■つながるねっとサービスのメリット

社外でも出張中でも接続可能

VPNではなくインターネット回線を使用するため、社内はもちろん、得意先、取引先と接続しやすくなります。

優れたコストパフォーマンス

インターネット回線を使用するため、VPN構築のための費用が不要です。さらに固定のグローバルIPアドレス取得費用も不要で、ランニングコストを軽減できます。

管理・運用が簡単

複雑なネットワーク設定が不要なため、専任の担当がいなくても管理・運用が容易に行えます[※]。接続も7桁の番号で電話をかける感覚で、簡単に行えます。

ネットワークを通じた攻撃を回避

HDコムにはグローバルIPアドレス(固有IPアドレス)の設定が不要のため、DDoS攻撃などネットワークを通じた攻撃を回避し、社内ネットワークの安全性を保ちながらビデオ会議を行えます。

[※]当社動作検証済みルーターを新規導入し、当社確認済みの設定で使用する場合。
[●]つながるねっと、HDコムモバイル(Windows用、iOS用、Android[™]用)に接続できる機器や条件についてはホームページをご覧ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/visual/lineup/connection>

■サービスのご利用方法

サービスのご利用方法	サービスのご利用方法
●HDコム本体にはHDコム本体用・HDコムモバイル(Windows用・iOS/Android [™] 用)の機器動作確認用の無償アクティベーションキーを同梱しています。無償アクティベーションキーを登録すると、利用登録から3ヶ月間に限り、お客様の機器動作確認ができます。	●HDコム本体にはHDコム本体用・HDコムモバイル(Windows用・iOS/Android [™] 用)の機器動作確認用の無償アクティベーションキーを同梱しています。無償アクティベーションキーを登録すると、利用登録から3ヶ月間に限り、お客様の機器動作確認ができます。
●つながるねっとサービスを継続してご利用になるには、有償のアクティベーションキーをご購入ください。詳細については、ご購入先にお問い合わせください。	●つながるねっとサービスを継続してご利用になるには、有償のアクティベーションキーをご購入ください。詳細については、ご購入先にお問い合わせください。

●回線契約(光回線推奨)とインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。●ご利用になるプロバイダーにより、通信データ量や帯域が制限される場合があります。●1台のルーターに複数台のHDコムおよびHDコムモバイルを接続しないでください。●HDコムモバイル同士、直接の接続はできません。●有償アクティベーションキーは使用後に返却はできません。●HDコムモバイルのご利用には、映像と音声の送受信に256kbps以上(映像:QVGA(Android[™])/W432p(Windows)、音声:G.722モノラル時)の帯域が必要です。●スマートフォンやタブレット端末は紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください。

つながるねっとサービス提供エリア

日本・アジア・中国・中近東アフリカ・米州・欧州

[※]つながるねっとサービスはグローバルに対応していますが、ネットワーク・ルーターの条件により、制限が発生することがあります。

つながるねっとサービスに対応したHDコムをご利用のお客様は、サービスを無償で3ヶ月お試しいただけます。

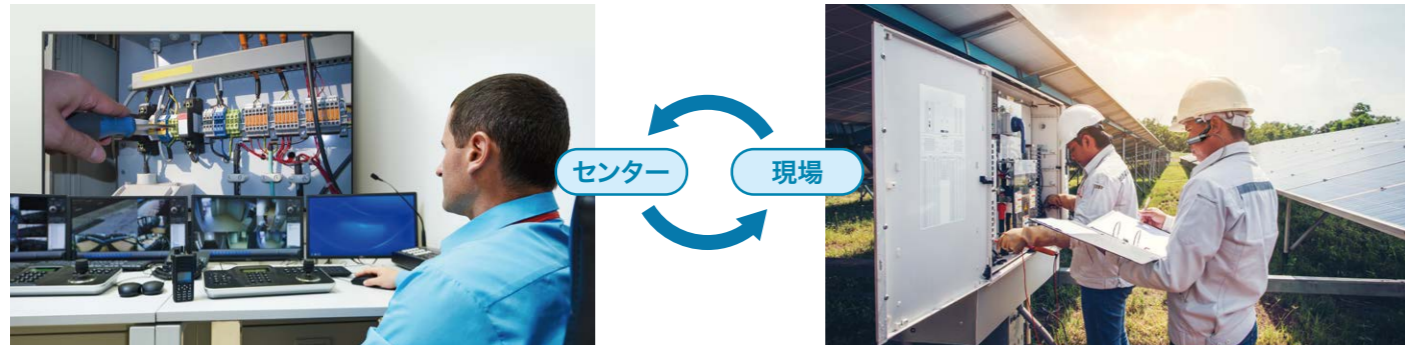
■ご利用機器について

動作検証済みルーター	対応機種
ヤマハ RTX3500、RTX1210 [※] 、RTX1200、RTX1100、NVR700W、NVR510、NVR500	●お客様のルーター設定によっては接続できない場合があります。販売店にご確認ください。
	KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300J/KX-VC600/KX-VC300

●使用環境に応じたルーターをご利用ください。詳しくは販売店にご相談ください。
[※]RTX1210の場合、設定でNAT動作1に変更することにより利用可能です。

複数の現場がひとつにつながるモバイル映像伝送システム

HDコム専用アプリケーション『HDコムLive』をインストールしたパナソニック製Android™端末とウェアラブルカメラを利用すれば、機器メンテナンスや建設の現場とセンターをつなぐことが可能です。また、センター側から現場映像や会話を録画することもでき、現場共有による意思決定の迅速化と同時に現場情報の蓄積によるノウハウの共有化を促進します。



■主な特長

ウェアラブルカメラの高画質映像伝送を実現
パナソニック独自の技術により、LTE回線やWi-Fi環境下の通信でも、高画質で滑らかな映像伝送が可能。パナソニック MVNOサービスにより、通信容量制限のないLTE通信環境を実現可能です。
(上り:最大4Mbps/下り:最大256kbpsの運用)*1

現場からの映像や会話の録画*2を実現
センター側で現場映像や会話を録画でき、録画したコンテンツの二次活用が可能。センター側で現場とのやりとりをまるごと録画することができます。また録画したコンテンツを、センターから現場に映像伝送で共有することもできます。

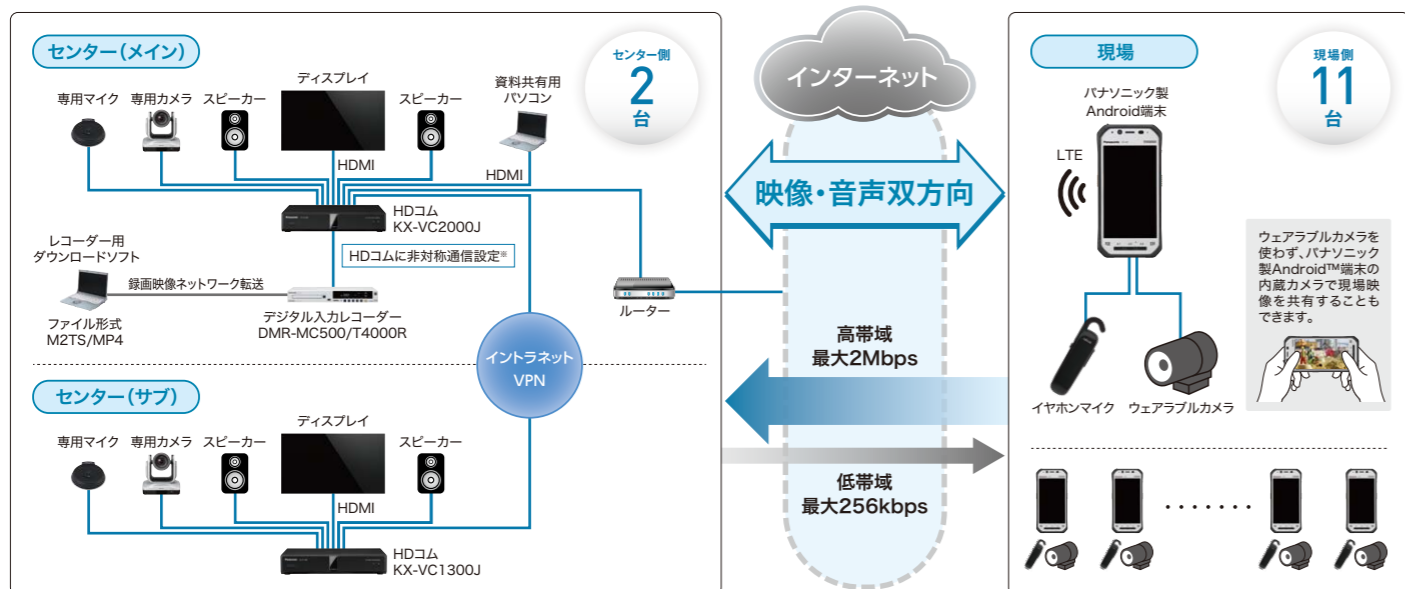
最大13地点の同時接続*3を実現
現場とセンターをあわせて最大13地点の同時接続、双方向コミュニケーションが可能。センターから現場に向けて、資料共有表示もできます。

最大
13
地点

*1 通信速度は、ベストエフォートによる提供のため実際の速度を示すものではありません。通信環境やネットワーク混雑状況などに応じて変化します。また利用状況に応じて、通信速度の制限がかかる場合があります。*2 現場からの映像や会話は、デジタル入力レコーダーに加え、HDコム本体のUSB録画機能でも録画可能です。*3 KX-VC2000Jを介して最大13地点、KX-VC1600Jを介して最大10地点、KX-VC1300Jを介して最大4地点の多地点接続が可能です。(1地点あたりの帯域:2Mbpsの場合)

■構成イメージ

センター側2拠点(メイン/サブ)のHDコムおよび、現場側11台のHDコムLiveの運用構成例です。センターで現場映像を確認でき、現場との双方向コミュニケーションが可能です。



※HDコム本体に非対称通信を設定した場合、HDコムLiveに加えて、HDコムモバイル(Android™)も非対称通信で動作します。●HDコムLiveはパナソニック製Android™端末:FZ-N1専用アプリケーションです。●「HDコムLive」アプリケーションは、Google Playからインストールします。なおHDコムLiveには、別途有償のアクティベーションキー(KX-VCS710W)がモバイル端末1台につき1つ必要です。●アクティベーションキー(KX-VCS710W)で、つながるねっとサービスが1年利用できます。つながるねっとサービスの利用期間を延長する際は、モバイル・アクティベーションキー1年もしくは3年をご購入ください。●HDコムLiveリンクはアクティベーションキー(KX-VCS701W:1年、KX-VCS703W:3年)で、つながるねっとサービスが利用できます。

巡回映像とネットワークカメラの監視映像を連携する次世代統合監視システム

『HDコムLive』の巡回映像と、ネットワークカメラの映像を連携する統合監視システムです。巡回現場と監視センター間の会話に加え、ネットワークカメラ映像もモニタリングすることで、現場状況を迅速かつ正確に把握できます。HDコムとネットワークカメラとの連携で、革新的な統合監視ソリューションをご提供します。



■主な特長

巡回現場の映像とネットワークカメラの映像を統合監視

HDコムLive*1による巡回現場の映像と、ネットワークカメラの映像を統合監視することができます。映像のモニタリングやネットワークディスクレコーダー*2への録画が可能です。巡回現場の映像は、パナソニック独自の技術によりLTE回線下の通信でも高画質で滑らかな伝送が可能です。

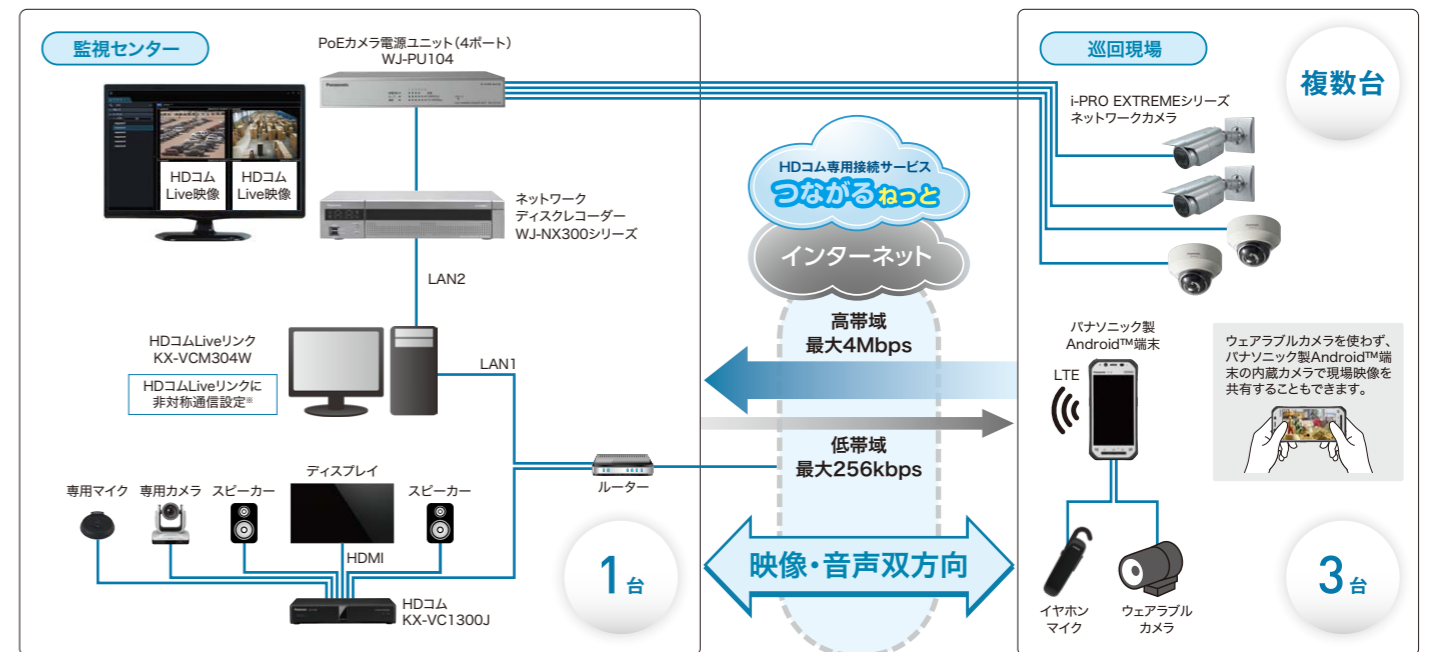
巡回現場と監視センター間の双方向音声コミュニケーションを実現

巡回現場のHDコムLiveと監視センターのHDコムの間で、双方向の音声コミュニケーションが可能です。監視センターのHDコムから巡回現場のHDコムLiveに向けて、資料の共有などを行うこともできます。

*1 巡回現場のHDコムLive最大3台と監視センターのHDコム1台を運用することができます。*2 HDコムLiveの1台の端末が1台のネットワークカメラの扱いで、ネットワークディスクレコーダー上でモニタリングや録画ができます。なお対応するネットワークディスクレコーダーは、WJ-NX400K/WJ-NX300シリーズ/WJ-NX200シリーズ/WJ-NX100シリーズです。

■構成イメージ

監視センター側1台のHDコムおよび、巡回現場側3台のHDコムLiveの運用構成例です。巡回現場映像とネットワークカメラの統合監視に加え、巡回現場との双方向コミュニケーションが可能です。



※HDコムLiveリンクに非対称通信を設定した場合、HDコムLiveに加えて、HDコムモバイル(Android™)も非対称通信で動作します。●HDコムLiveはパナソニック製Android™端末:FZ-N1専用アプリケーションです。●「HDコムLive」アプリケーションは、Google Playからインストールします。なおHDコムLiveには、別途有償のアクティベーションキー(KX-VCS710W)がモバイル端末1台につき1つ必要です。●HDコムLiveはアクティベーションキー(KX-VCS710W)で、つながるねっとサービスが1年利用できます。つながるねっとサービスの利用期間を延長する際は、モバイル・アクティベーションキー1年もしくは3年をご購入ください。●HDコムLiveリンクはアクティベーションキー(KX-VCS701W:1年、KX-VCS703W:3年)で、つながるねっとサービスが利用できます。

ラインアップ

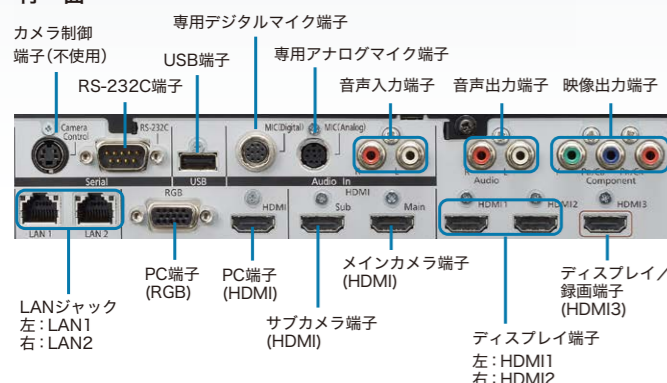
KX-VC2000J

オープン価格*
リモコン付属
別売 ・HDコム専用カメラ
・HDコム専用マイク
・HDMIケーブル

最大
24
地点^{※1}



背面



※1 KX-VC2000Jに、アクティベーションキー(品番: KX-VCS305W)を1つ使用すると20地点、2つ使用すると24地点接続に拡張します。
※2 KX-VC1600Jに、アクティベーションキー(品番: KX-VCS304W)を使用すると10地点接続に拡張します。

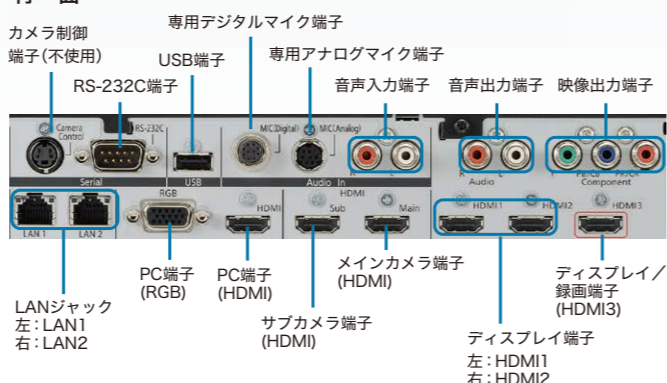
KX-VC1600J

オープン価格*
リモコン付属
別売 ・HDコム専用カメラ
・HDコム専用マイク
・HDMIケーブル

最大
10
地点^{※2}



背面



機能比較

	KX-VC2000J	KX-VC1600J	KX-VC1300J
接続地点	24(最大)、20、16(標準) ^{※1}	10(最大)、6(標準) ^{※2}	4(標準)
デュアルネットワーク	○	○	—
マルチデバイス	○	○	○
モニター数	3	3	2
フルHD 1080/60p	○	○	○
AV-QoS	○	○	○
サブカメラ映像共有	○	○	○
RCAコンポーネント	○	○	—
録画端子	○	○	—

※1 KX-VC2000Jに、アクティベーションキー(品番: KX-VCS305W)を1つ使用すると20地点、2つ使用すると24地点接続に拡張します。
※2 KX-VC1600Jに、アクティベーションキー(品番: KX-VCS304W)を使用すると10地点接続に拡張します。

HDコム本体用アクティベーションキー

	品名	品番	価格
KX-VC2000J用	4地点接続拡張 ^{※1}	KX-VCS305W	オープン価格 ^{※4}
KX-VC1600J用	4地点接続拡張 ^{※2}	KX-VCS304W	オープン価格 ^{※4}
KX-VC2000J用	モバイル接続拡張	KX-VCS352W	オープン価格 ^{※4}
KX-VC1600J/KX-VC1300J用	モバイル接続拡張	KX-VCS351W	オープン価格 ^{※4}
KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300J/KX-VC600/KX-VC300用	つながるねっと1年	KX-VCS701W	36,000円(税抜)
KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300J/KX-VC600/KX-VC300用	つながるねっと3年	KX-VCS703W	99,000円(税抜)
KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300J/KX-VC600/KX-VC300用	片方向配信拡張	KX-VCS302W	オープン価格 ^{※4}
KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300J用	USBデバイスモード拡張キット ^{※3}	KX-VZ501	オープン価格 ^{※4}
KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300J用	Webハイブリッドモード拡張キット ^{※3}	KX-VZ502	オープン価格 ^{※4}

※1 KX-VC2000Jに、アクティベーションキー(品番: KX-VCS305W)を1つ使用すると20地点、2つ使用すると24地点接続に拡張します。
※2 KX-VC1600Jに、アクティベーションキー(品番: KX-VCS304W)を使用すると10地点接続に拡張します。
※3 専用USB変換ケーブル(30cm)が同梱されます。パソコンとHDコム間を接続するためには、別途市販のUSBケーブル(A-Bタイプ)が必要です。
※4 オープン価格商品の価格は販売店にお問い合わせください。

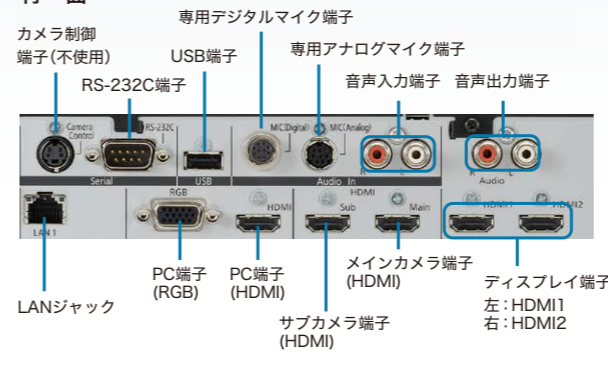
KX-VC1300J

オープン価格*
リモコン付属
別売 ・HDコム専用カメラ
・HDコム専用マイク
・HDMIケーブル

最大
4
地点



背面

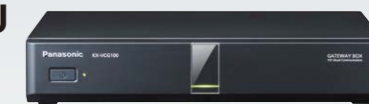


※オープン価格商品の価格は販売店にお問い合わせください。

Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックス

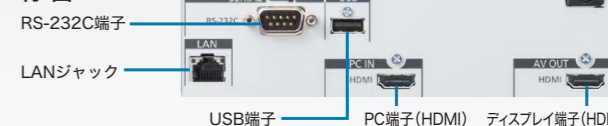
KX-VCG100J

オープン価格*
別売
・HDMIケーブル
・USBケーブル(A-Bタイプ)



●リモコンは付属していません。

背面



HDコムモバイル

出先からパソコン、タブレットやスマートフォンを使ってビデオ会議に参加できるHDコム専用アプリケーション

Windows用

WindowsパソコンでパナソニックHDコムホームページよりインストールファイルを入手してください。



iOS用

iOS端末でApp Storeにアクセスして入手してください。



Android™用

Android™端末でGoogle Playにアクセスして入手してください。



●詳しくは、8ページのHDコムモバイル入手方法をご参照ください。

HDコムLive

現場でウェアラブルカメラとパナソニック製Android™端末を使って高画質映像伝送ができるHDコム専用アプリケーションです。

Android™用

Google Playにアクセスして入手してください。



HDコムモバイル用アクティベーションキー

	品名	品番	希望小売価格(税抜)
Windows用 ^{※1}	モバイル・アクティベーションキー1年 Windows用	KX-VCS781W	18,000円
	モバイル・アクティベーションキー3年 Windows用	KX-VCS783W	48,000円
iOS/Android™用 ^{※2}	モバイル・アクティベーションキー1年	KX-VCS711W	9,000円
	モバイル・アクティベーションキー3年	KX-VCS713W	24,000円

※1 HDコム専用アプリケーション、「HDコムモバイル Windows用」です。※2 HDコム専用アプリケーション、「HDコムモバイル iOS/Android™用」です。

HDコムLive用アクティベーションキー

	品名	品番	希望小売価格(税抜)
Android™用 ^{※1}	HDコムLive	KX-VCS710W	オープン価格 ^{※2}

※1 HDコム専用アプリケーション、「HDコムLive用」です。(パナソニック製Android™端末専用)
※2 オープン価格商品の価格は販売店にお問い合わせください。

ラインアップ

■HDコム専用カメラ

つり下げ／据え置き型
KX-VD170J フルHD ^{※1}

- オープン価格[※](HDMIケーブル別売)
- フルHD
 - 光学12倍ズーム／デジタル10倍ズーム
 - 水平画角 72.5° (Wide端) - 6.3° (Tele端)
 - パン範囲: ±130° / テルト範囲: +90° - 25°

※1 天つり設置する際は、別売のカメラ天つり金具(品番: KX-VCZ170)が必要です。

カメラ天つり金具
KX-VCZ170 (別売)
 オープン価格[※]



据え置き型
GP-VD131J フルHD ^{※1}

- オープン価格[※](HDMIケーブル別売)
- フルHD
 - 光学3倍ズーム／デジタル4倍ズーム
 - 水平画角 100° (Wide端) - 34.0° (Tele端)
 - パン範囲: ±100° / テルト範囲: ±20°



■HDコム専用マイク

バウンダリーマイクロホン(デジタル)
KX-VCA001

- オープン価格[※]
 (専用ケーブル同梱: ケーブル長 約8.5m)
- 話者の方向認識機能付きの高品位ステレオマイク
 - 4台までカスケード接続可能



バウンダリーマイクロホン(アナログ)
KX-VCA002

- オープン価格[※]
 (専用ケーブル同梱: ケーブル長 約7m)
- コンパクトで経済的なステレオマイク

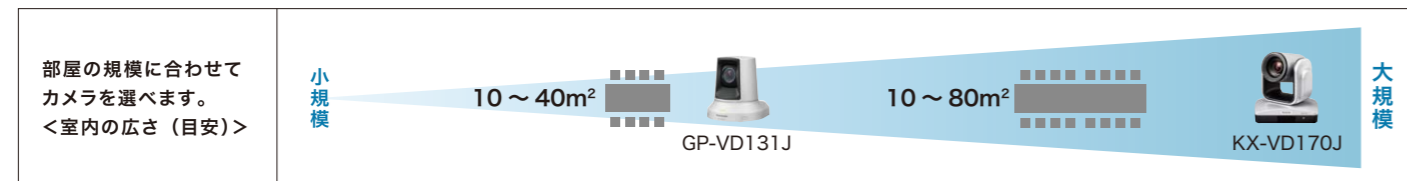


デジタルバウンダリーマイクロホン用20mケーブル
KX-VCAEX01J ^{※1}

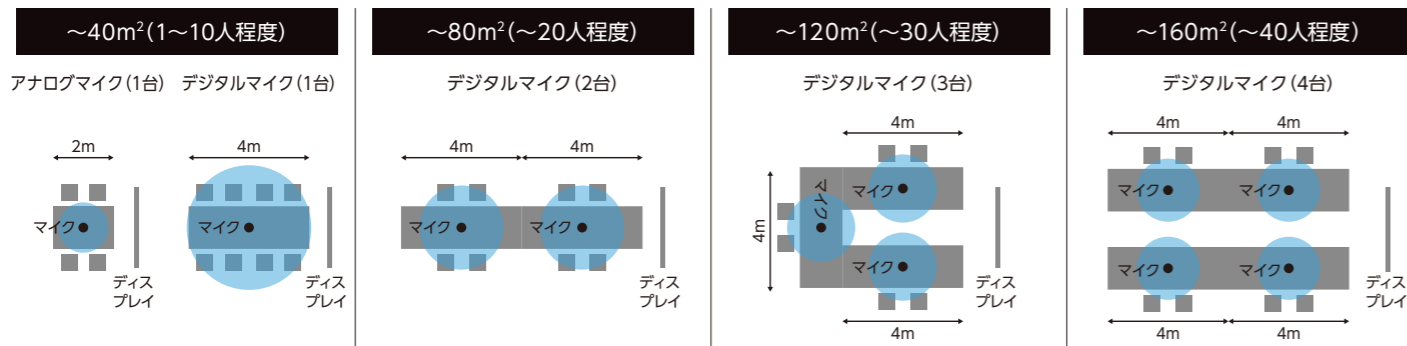
- 希望小売価格 **38,000円**(税抜)
- 長尺ケーブル(同梱のケーブルでは届かない場所にマイクを設置する際お使いください。)
 - ※1 HDコムと、HDコムに直接接続するマイクにのみご利用できます。デジタルバウンダリーマイクロホンに同梱しているケーブルには接続できません。



※オープン価格商品の価格は販売店にお問い合わせください。



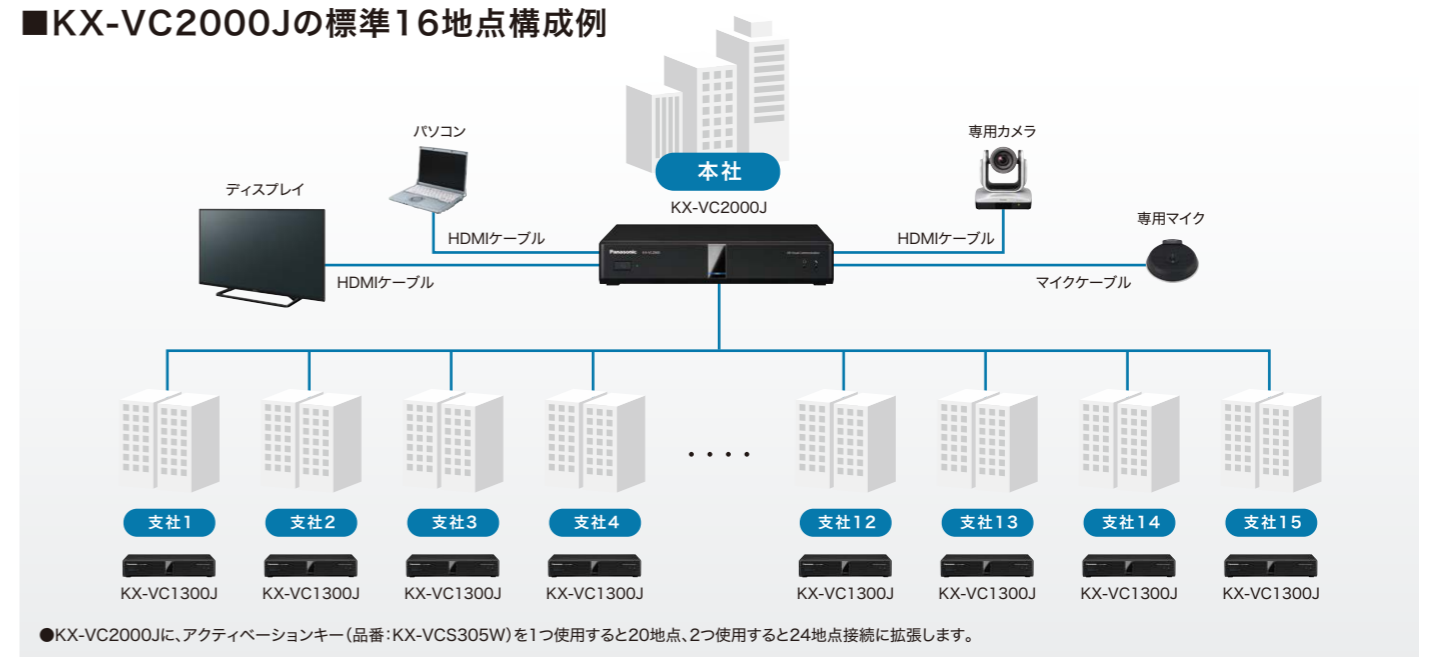
接続拠点数と部屋の広さに合わせて柔軟にシステムが組めます <HDコム専用マイク収容面積対応一覧>



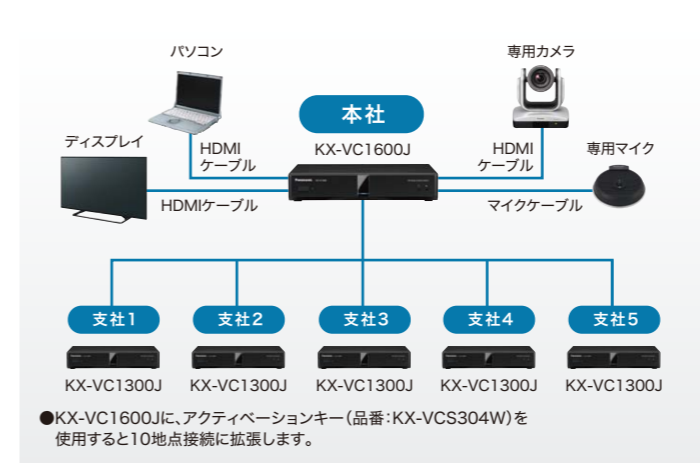
- 図はレイアウト例であり、最大収容人数を規定するものではありません。
- 専用デジタルマイク/アナログマイクを使用したときの収容面積であり、その他のマイクを使用した場合は、この限りではありません。
- アナログマイクの集音範囲の目安は通常の会議室で半径約1.5m、デジタルマイクの集音範囲の目安は通常の会議室で半径約2.2m(1台使用時)です。
- アナログマイクはコネクタをディスプレイ側に向けて設置してください。

システム構成例

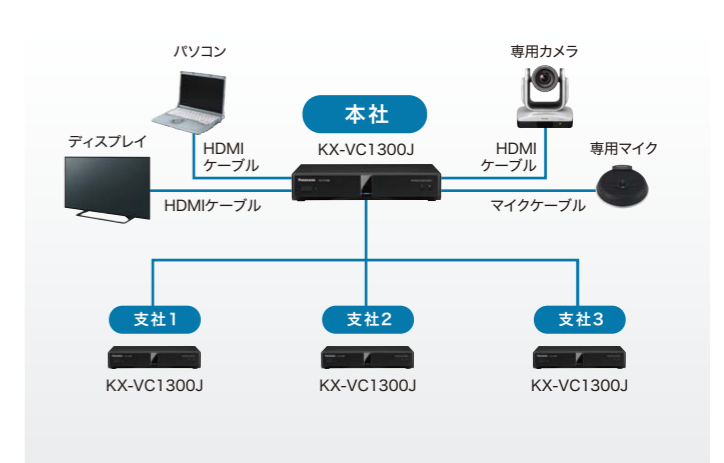
■KX-VC2000Jの標準16地点構成例



■KX-VC1600Jの標準6地点構成例



■KX-VC1300Jの標準4地点構成例



最適な音質でお使いいただくために

室内環境やディスプレイ内蔵スピーカーによっては、相手の音が聞き取りにくい場合があります。最適な音質でビデオ会議をするために、外部スピーカーのご利用をお勧めいたします。

詳しくは販売店にご相談ください。

■接続例[※]

※外部スピーカーの種類により、配線は異なります。



システム仕様

■KX-VC2000J

本体		KX-VC2000J	
端末方式		SIP, H.323	
画像圧縮方式		H.261 (メインストリームのみ)、H.263、H.263+、H.263++ (受信のみ)、H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile	
音声圧縮方式		G.711 μ -law、A-law (3.4 kHz@64 kbps) G.722 (7.0 kHz@64 kbps) G.722.1 (7.0 kHz@32 kbps) G.722.1 Annex C (14.0 kHz@48 kbps / 24 kbps) MPEG-4 AAC-LD Mono (7.0 kHz@32 kbps、14.0 kHz@64 kbps、22.0 kHz@96 kbps) MPEG-4 AAC-LD Stereo (14.0 kHz@64 kbps、22.0 kHz@96 kbps)	
チャンネル数		G.711/G.722/G.722.1/G.722.1 Annex C : 1 MPEG-4 AAC-LD Mono : 1 / MPEG-4 AAC-LD Stereo : 2	
遠隔カメラコントロール		H.224、H.281 (ズーム/パン/チルト/プリセット)	
デュアルストリーム	方式	H.239 (H.323)、BFCP (SIP)	
	複数モニター 対応解像度フレーム数	3モニター メイン: 最大1080p 30フレーム/秒 サブ: 最大1080p 30フレーム/秒	
暗号化		SRTP (AES 128bit)、H.235 (AES 128bit)	
その他		H.460	
通信帯域		256 kbps ~ 24 Mbps	
映像	対応解像度 ^{*1}	176 × 144p、352 × 240p、352 × 288p、512 × 288p、640 × 480p、704 × 480p、704 × 576p、768 × 432p、800 × 600p、1024 × 768p、1280 × 720p、1280 × 768p、1280 × 800p、1920 × 1080p	
	フレーム数 画面表示	最大60フレーム/秒 (H.264 1080p時) フルスクリーン、PinP、PwithP、Side by Side	
音声		エコーキャンセラー、オートゲインコントロール、定常ノイズ抑圧、リップシンク、イコライザー、マイクミュート	
入/出力端子	映像入力 カメラ ^{*2}	HDMIメイン×1、HDMIサブ×1	
	パソコン ^{*3}	入力対応解像度: 1280×720p、1920×1080i、1920×1080p RGB×1 (ミニD-sub 15pin)、HDMI×1 ^{*2}	
	映像出力	入力対応解像度: VGA、SVGA、XGA、HD、WXGA、SXGA、FWXGA、WXGA+、WXGA++、UXGA、WSXGA+、フルHD HDMI×2、HDMI×1 (自拠点/録画用)、RCA×1 (コンポーネント) 出力対応解像度: 1920×1080i、1920×1080p	
	音声入力	専用デジタルマイク×1 (KX-VCA001) 最大4台、専用アナログマイク×1 (KX-VCA002) 最大1台、 HDMI、ステレオミニプラグ ^{*4} ×1 (φ3.5mm)、RCA ^{*6} ×1 (ステレオ)	
	音声出力	HDMI ^{*7} 、ステレオミニプラグ ^{*4} ×1 (φ3.5mm)、RCA ^{*6} ×1 (ステレオ)	
	ネットワーク	RJ45×2 (100BASE-T 全二重)	
	外部制御	RS-232C×1 (メンテナンス用兼用)	
	その他	USB 2.0 ^{*10} ×1 (ホストモード、デバイスモード)、カメラ制御端子×1 (未使用)	
同時接続地点数		16 (最大24まで拡張可能)	
コンテンツ共有		PC (RGB/HDMI)、サブカメラ (HDMIサブ)	
USBホストモード (USBメモリー)		バージョンアップ、録画	
		インポート: アドレス帳/プロファイル/構成データ/暗号データ/起動画面/配信ホスト エクスポート: アドレス帳/プロファイル/構成データ/暗号データ/配信ホスト	
USBデバイスモード		USB Video Class: バージョン1.0 USB Audio Class: バージョン1.0	
Webハイブリッドモード		USB Audio Class: バージョン1.0	
ネットワークプロトコル		TCP/IPv4、TCP/IPv6 ^{*11} 、UDP/IPv4、UDP/IPv6 ^{*11} 、DHCP、DNS、HTTP、HTTPS、TELNET、NTP	
ネットワーク機能		パケット再送 (ARQ)、前方誤り訂正 (FEC)、最速レート制御 (ARC)、リオーダー、パケットシェーピング、ポートの任意設定、NAT対応、暗号化、IP Precedence/DiffServのサポート	
外部制御		Webブラウザ経由/HTTP CGIでの制御、TELNET、RS-232C	
接続モード		標準モード、つながるねっとサービスモード、標準・つながるねっとサービスモード	
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)		約320mm x 約270mm x 約61mm (突起部除く)	
質量		約3.4kg	
使用電源		AC 100 ~ 240V ^{*12} 、~ 1.0A、50/60Hz	
消費電力		最大時: 73 W、待機時: 0.6 W	
本体入力電源		DC24V、3.0A	
動作温度		0°C ~ 40°C	
動作湿度		10% ~ 90% (結露なきこと)	

● 他社機器または他社MCU (多地点接続装置) との接続時、他社機器もしくはMCUの仕様により接続時の条件が異なります。

※1 HDコム の設定やネットワークの状況により、変化します。 ※2 HDCPには、対応していません。 ※3 RGBとHDMIの両方にパソコンが接続されている場合は、HDMIに接続されているパソコンの映像が表示されます。 ※4 3極ステレオミニプラグ専用です。 ※5 不平衡、入力インピーダンス: 約2.3k Ω (約3VのDCバイアス有り) ※6 不平衡、推奨入力値: -16dBV、インピーダンス: 約100k Ω ※7 HDMI1 / HDMI2に同時に音声出力することはできません。 ※8 不平衡、推奨負荷インピーダンス: 16 Ω ※9 不平衡、出力レベル: 約-25dBV、インピーダンス: 約400 Ω ※10 給電能力: 5V / 500mA ※11 一部の機能はIPv6に対応していません。 ※12 電源コードはAC 100 V 専用です。

■HDコム専用カメラ

本体	つり下げ / 据え置き型 KX-VD170J	据え置き型 GP-VD131J
解像度	1920×1080p	1920×1080i、1920×1080p
画素数	約207万画素	
画角 (光学ズーム)	水平画角 72.5° (Wide端) - 6.3° (Tele端) F1.8 (Wide端) ~ F2.8 (Tele端)	水平画角 100° (Wide端) - 34.0° (Tele端) F1.2 (Wide端) ~ F2.0 (Tele端)
パン/チルト	パン: $\pm 130^\circ$ / チルト: $+90^\circ - 25^\circ$	パン: $\pm 100^\circ$ / チルト: $\pm 20^\circ$
ズーム	光学12倍 / デジタル10倍	光学3倍 / デジタル4倍
プリセット	12カ所	
接続ケーブル	HDMI	
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	約180 mm×約145 mm×約184 mm	約133 mm×約127 mm×約139 mm
質量	約1.6 kg	約0.8 kg
消費電力	DC12V 1.2A	DC16V 600mA
動作温度	0°C ~ 40°C	
動作湿度	20% ~ 90% (結露なきこと)	

■KX-VC1600J/KX-VC1300J

本体		KX-VC1600J		KX-VC1300J	
端末方式		SIP, H.323			
画像圧縮方式		H.261 (メインストリームのみ)、H.263、H.263+、H.263++ (受信のみ)、H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile			
音声圧縮方式		G.711 μ -law、A-law (3.4 kHz@64 kbps) G.722 (7.0 kHz@64 kbps) G.722.1 (7.0 kHz@32 kbps) G.722.1 Annex C (14.0 kHz@48 kbps / 24 kbps) MPEG-4 AAC-LD Mono (7.0 kHz@32 kbps、14.0 kHz@64 kbps、22.0 kHz@96 kbps) MPEG-4 AAC-LD Stereo (14.0 kHz@64 kbps、22.0 kHz@96 kbps)			
チャンネル数		G.711/G.722/G.722.1/G.722.1 Annex C : 1 MPEG-4 AAC-LD Mono : 1 / MPEG-4 AAC-LD Stereo : 2			
遠隔カメラコントロール		H.224、H.281 (ズーム/パン/チルト/プリセット)			
デュアルストリーム	方式	H.239 (H.323)、BFCP (SIP)			
	複数モニター 対応解像度フレーム数	3モニター		2モニター	
暗号化		SRTP (AES 128bit)、H.235 (AES 128bit)			
その他		H.460			
通信帯域		256 kbps ~ 18 Mbps			
映像	対応解像度 ^{*1}	176 × 144p、352 × 240p、352 × 288p、512 × 288p、640 × 480p、704 × 480p、704 × 576p、768 × 432p、800 × 600p、1024 × 768p、1280 × 720p、1280 × 768p、1280 × 800p、1920 × 1080p			
	フレーム数 画面表示	最大60フレーム/秒 (H.264 1080p時) フルスクリーン、PinP、PwithP、Side by Side			
音声		エコーキャンセラー、オートゲインコントロール、定常ノイズ抑圧、リップシンク、イコライザー、マイクミュート			
入/出力端子	映像入力 カメラ ^{*2}	HDMIメイン×1、HDMIサブ×1			
	パソコン ^{*3}	入力対応解像度: 1280×720p、1920×1080i、1920×1080p RGB×1 (ミニD-sub 15pin)、HDMI×1 ^{*2}			
	映像出力	HDMI×2、HDMI×1 (自拠点/録画用)、RCA×1 (コンポーネント)		HDMI×2	
	音声入力	専用デジタルマイク×1 (KX-VCA001) 最大4台、専用アナログマイク×1 (KX-VCA002) 最大1台、 HDMI、ステレオミニプラグ ^{*4} ×1 (φ3.5mm)、RCA ^{*6} ×1 (ステレオ)			
	音声出力	HDMI ^{*7} 、ステレオミニプラグ ^{*4} ×1 (φ3.5mm)、RCA ^{*6} ×1 (ステレオ)			
	ネットワーク	RJ45×2 (100BASE-TX 全二重)		RJ45×1 (100BASE-TX 全二重)	
	外部制御	RS-232C×1 (メンテナンス用兼用)			
	その他	USB 2.0 ^{*10} ×1 (ホストモード、デバイスモード)、カメラ制御端子×1 (未使用)			
同時接続地点数		6 (最大10まで拡張可能)		4	
コンテンツ共有		PC (RGB/HDMI)、サブカメラ (HDMIサブ)			
USBホストモード (USBメモリー)		バージョンアップ、録画			
		インポート: アドレス帳/プロファイル/構成データ/暗号データ/起動画面/配信ホスト エクスポート: アドレス帳/プロファイル/構成データ/暗号データ/配信ホスト			
USBデバイスモード		USB Video Class: バージョン1.0 USB Audio Class: バージョン1.0			
Webハイブリッドモード		USB Audio Class: バージョン1.0			
ネットワークプロトコル		TCP/IPv4、TCP/IPv6 ^{*11} 、UDP/IPv4、UDP/IPv6 ^{*11} 、DHCP、DNS、HTTP、HTTPS、TELNET、NTP			
ネットワーク機能		パケット再送 (ARQ)、前方誤り訂正 (FEC)、最速レート制御 (ARC)、リオーダー、パケットシェーピング、ポートの任意設定、NAT対応、暗号化、IP Precedence/DiffServのサポート			
外部制御		Webブラウザ経由/HTTP CGIでの制御、TELNET、RS-232C			
接続モード		標準モード、つながるねっとサービスモード、標準・つながるねっとサービスモード			
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)		約320mm x 約230mm x 約61mm (突起部除く)			
質量		約2.0kg			
使用電源		AC 100 ~ 240V ^{*12} 、~ 1.4A、50/60Hz			
消費電力		最大時: 45 W、待機時: 0.6 W		最大時: 43 W、待機時: 0.6 W	
本体入力電源		DC24V、2.5A			
動作温度		0°C ~ 40°C			
動作湿度		10% ~ 90% (結露なきこと)			

● 他社機器または他社MCU (多地点接続装置) との接続時、他社機器もしくはMCUの仕様により接続時の条件が異なります。

※1 HDコム の設定やネットワークの状況により、変化します。 ※2 HDCPには、対応していません。 ※3 RGBとHDMIの両方にパソコンが接続されている場合は、HDMIに接続されているパソコンの映像が表示されます。 ※4 3極ステレオミニプラグ専用です。 ※5 不平衡、入力インピーダンス: 約2.3k Ω (約3VのDCバイアス有り) ※6 不平衡、推奨入力値: -16dBV、インピーダンス: 約100k Ω ※7 HDMI1 / HDMI2に同時に音声出力することはできません。 ※8 不平衡、推奨負荷インピーダンス: 16 Ω ※9 不平衡、出力レベル: 約-25dBV、インピーダンス: 約400 Ω ※10 給電能力: 5V / 500mA ※11 一部の機能はIPv6に対応していません。 ※12 電源コードはAC 100 V 専用です。

■HDコム専用マイク

専用マイク	KX-VCA001	KX-VCA002
タイプ	バウンダリーマイクロホン (デジタル)	バウンダリーマイクロホン (アナログ)
集音方法	ステレオ (自動左右チャンネル設定、1台接続時) モノラル (2 ~ 4台接続時) ^{*1}	ステレオ (固定ステレオ集音)
集音範囲	360° ^{*2}	360° ^{*3} ※4
マイクロホンユニット	単一指向性ECMマイク部品×4個	単一指向性ECMマイク部品×2個
接続可能台数	最大4台	最大1台
最大入力音圧	110 dBspl	
マイクケーブル接続端子	2個	1個
マイクオフボタン	プッシュ式スイッチ	
ランプ	状態表示用ランプ 赤: マイクオフ中 緑: 通信中 オレンジ: 起動中 (約1秒間点滅) 消灯: 非通信中	
外形寸法	径φ約120 mm×約27 mm	径φ約75 mm×約31 mm
付属ケーブル長	約8.5 m	約7 m
使用電源	本体から専用ケーブル経由で供給	
質量	約280 g	約80 g
動作温度	0°C ~ 40°C	
動作湿度	10% ~ 90% (結露なきこと)	

デジタルバウンダリー マイクロホン用20mケーブル	KX-VCAEX01J
外形寸法 (径×長さ)	ケーブル外形 φ約7 mm×約20 m
質量	約1.3 kg
動作周囲温度	0°C ~ 40°C
動作湿度	10% ~ 90% (結露なきこと)

※1 ユーザー設定変更により、2~4台でもステレオ集音が可能になります。
※2 集音範囲は使用する環境の騒音レベルとマイクの数によって異なります。
※3 集音範囲は使用する環境の騒音レベルによって異なります。
※4 固定ステレオ集音方式のため、マイクのコネクタをディスプレイ側に向けて設置してください。

他社製品スタンドのご紹介

取付可能なテレビ/ディスプレイの品番は
スタンドメーカー様にお問い合わせ下さい。

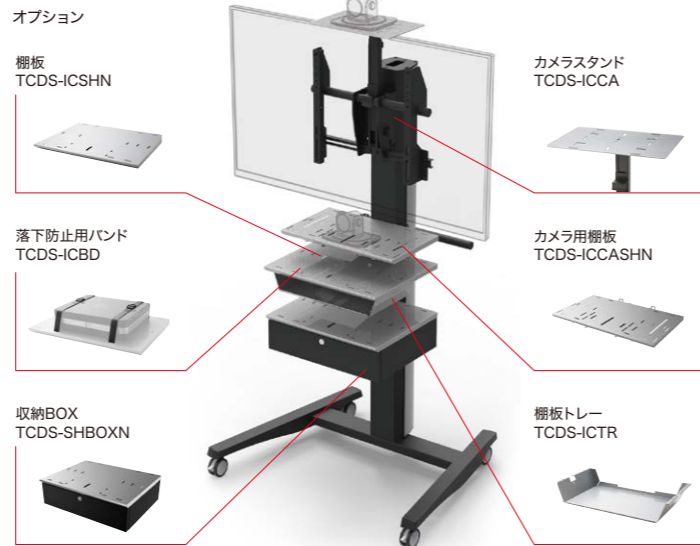


KANI+ TCDS-IC55N

カニ プラス
ディスプレイセンター位置
5段階(1240/1310/1380/1450/1520mm)
ディスプレイ取付ネジピッチ
縦横各100~400mm以内
棚板取付高さ調整
600~1100mm(50mmピッチ)
アルミ、スチール質量32kg
サテンブラック、シルバークロームメタリック粉体塗装
棚板1枚標準装備

※オープン価格

- 対応ディスプレイサイズ
32~60型
積載質量 約40kg
- 耐震・転倒対策
重量軽減のAST樹脂
- RoHS対策
特定有害物質の使用制限
- VOC対策
揮発性有機化合物対策



※詳しい取付可能ディスプレイサイズは下記弊社ホームページをご覧ください。

KANI+ 質感とデザインを追求し、基本性能を向上させたワンランク上のディスプレイスタンド

DSH-65H 薄型ディスプレイスタンド 電動昇降式

電動昇降式 大型ディスプレイスタンド
無段階昇降を楽に! 簡単に!

搭載質量
最大 40kg

適合サイズ
50~65型



- 65型までのディスプレイが搭載可能
- 使用状況に応じて高さは無段階に調整
- 確実な押しボタンスイッチ式で無段階昇降
- 移動に便利な双輪100φの大型キャスター

DS-150 薄型ディスプレイスタンド

楽に動かせる薄型ディスプレイスタンド
70型まで搭載可能

搭載質量
最大 75kg

適合サイズ
37~70型



- 前輪はストッパー付き、何かの反動でも動かず安全に利用が可能
- 重心を中央寄りに設計、転倒角度15.7°を実現
- オプションの鍵付きキャビネットと棚板で、機器・備品収納も解決

DS-200 薄型ディスプレイスタンド

手動ハンドル式を採用。小さな力で、簡単にディスプレイの高さ調整が行えます。

搭載質量
最大 75kg

適合サイズ
37~70型



- 電源不要でどこでも昇降可能な手動タイプ
- 前輪はストッパー付き、何らかの反動でも動かず安全に利用が可能
- オプションの鍵付きキャビネットと棚板で、機器・備品収納も解決

株式会社一ノ坪製作所
本社 〒639-0264 奈良県香芝市今泉625番地
Tel 0745-76-3181 Fax 0745-76-3187
ホームページ <http://www.ichinotsubo.co.jp>

株式会社オーエス
本社 大阪市西成区南津守6-5-53 オーエス大阪ビル
国土交通大臣許可(般-31)第12111号 本部 東京都足立区綾瀬 3-25-18 オーエス東京ビル

お問い合わせはコンタクトセンターへ(受付時間:平日 9:00~18:00 ※土日祝祭日を除く)
TEL 0120-380-495 Fax 0120-380-496
※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが次の番号におかけください。TEL 03-3629-5211 FAX 03-3629-5214

ホームページ <https://www.os-worldwide.com>
メールアドレス info@os-worldwide.com

UCHIDA ディスプレイスタンド PREVIS[プレヴィス]

スチール製のテレビ台がリニューアル。(2020年1月発売予定)
堅牢な構造+横長の大型ハンドル等の特徴で大型テレビ(ディスプレイ)にも対応します。



型式	PRV75-MB01	寸法	W900×D896×H1663.5mm
型番	6-728-5350	質量	約40kg
対応ディスプレイサイズ	60~75型	対応ディスプレイサイズ	60~75型(90kg以下)
本体価格	¥119,500(税抜き)	本体材質	スチール製
付属品	ディスプレイ取付金具(マルチブラケット)	機能	画面2段階角度調整、画面高さ3段階調整、ストッパー付きキャスター4個、R形状樹脂脚端キャップ付き、大型ハンドル付き、本体前面パネル取外し可能



型式	PRV60-MB01	寸法	W860×D781×H1666mm
型番	6-728-5360	質量	約33kg
対応ディスプレイサイズ	37~60型	対応ディスプレイサイズ	37~60型(50kg以下)
本体価格	¥97,500(税抜き)	本体材質	スチール製
付属品	ディスプレイ取付金具(マルチブラケット)	機能	画面2段階角度調整、画面高さ3段階調整、ストッパー付きキャスター4個、R形状樹脂脚端キャップ付き、大型ハンドル付き

内田洋行
〒104-8282 東京都中央区新川2-4-7
商品についてのお問い合わせはお客相談センター
TEL 0120-077-266
※当カタログ掲載商品の価格・仕様は、諸般の事情により予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。



HAMILEX

細部にまでこだわり、とにかくスタイリッシュなディスプレイスタンド

※各スタンドのオプション(棚板・カメラスタンド)については、ハヤミ工業株式会社までお問い合わせください。

PH-770 series

小型用 ~32V型

PH-773
希望小売価格 38,000円(税抜)
■付属品: 棚板ダブル(固定ベルト2本) ■質量: 約24kg
■上下調節: 50ミリピッチ(支柱の上から下まで)
■角度調節: 前方6°、後方6°



PH-810 series

中・大型用 ~55V型

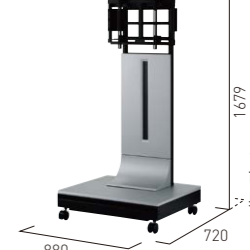
PH-B815
希望小売価格 58,000円(税抜)
■付属品: 棚板ダブル(固定ベルト2本) ■質量: 約32kg
■上下調節: 80ミリピッチ 4段階
■角度調節: 前方5°・11°



PH-910 series

大型用 ~70V型

PH-917
希望小売価格 78,000円(税抜)
■質量: 約47.5kg(2梱包)
■上下調節: 80ミリピッチ 3段階
■角度調節: 前方5°・12°、後方7°・14°



ハヤミ工業株式会社
<http://www.hayami.co.jp>
本社 〒529-0498 滋賀県長浜市木之本町黒田313-2 TEL:0749-82-4334(代)
東京支店 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-11-12 TEL:03-3664-2484(代)
大阪支店 〒550-0011 大阪市西区阿波座2-4-17 TEL:06-6535-3450(代)
仙台営業所 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-4-30 ビジネスセンタービル TEL:022-262-8939(代)
名古屋営業所 〒460-0022 名古屋市中区金山1-4-4 タツミビル TEL:052-339-2291(代)
福岡営業所 〒812-0024 福岡市博多区綱場町5-28 さかえビル TEL:092-281-7838(代)

導入事例

HDコムを導入いただいたお客様の事例を紹介いたします。
 様々な業界への豊富な導入実績を活かして、お客様の用途や予算に合わせたビデオ会議システムのご提案が可能です。

リアルタイムでの現場作業支援に

大阪ガス株式会社 様 泉北製造所

現場と事務所間の映像音声双方向通信をHDコムLiveで構築。
 迅速で正確な意思疎通はもちろん、効率的な人員配置を実現。

エネルギー



計器の指示値も現場と事務所間で可能に。

事務所のディスプレイに点検現場の映像を表示。

点検作業員が装着したタブパッドとウェアラブルカメラ本体部。

導入後のメリット

HDコムLiveで事務所にいながら映像で状況を把握。現場での事態に的確な指示や対応が可能。また、事務所から現場までの移動時間削減にも貢献。複数の所員が立ち会う作業もHDコムLiveの活用で少人数で行い、人員配置の最適化に繋がっています。音声通信だけでは読み取れない現場状況をリアルタイム映像で取得。迅速な意思決定と安全な指示を適切に行い、スムーズな災害対応となることを期待されています。

質の高い防災体制の構築に

鳥取市 様

災害対策本部と離れた12の防災拠点の遠隔コミュニケーションをHDコムで確立。
 正確な情報を素早く共有できる質の高い防災体制の構築に貢献。

官公庁



複数の画面で現場の映像や資料の共有が可能。

災害対策本部室のメインディスプレイ。防災拠点の映像を分割画面で表示。

タッチディスプレイで天井カメラやディスプレイの切替、録画操作が可能。

導入後のメリット

避難勧告の情報や避難所の使用状況を災害対策本部に報告する際、話し手の表情はもちろん、会議室の状況がそのまま伝わり正確な情報の共有が可能。支部長が総合支所から離れずに、災害対策本部と連携ができ、現場の判断スピードが向上することを期待されています。災害時の移動は、がけ崩れなどのリスクもあり、職員の安全も確保できることも大きなメリット。災害対策以外にも、毎月の幹部会議での活用で、移動時間とコストの大幅な削減に貢献しています。



製造

パナソニック スマートファクトリーソリューションズ株式会社

現場の実態把握にかかる時間を大きく短縮できたことはもちろん、複数の技術者が現場情報を同時に共有できるため、総合的な品質が向上しました。



製造

一ノ坪製作所 様

離れた工場と事務所間の連携を高めるため、HDコムを活用されています。実物を見ながらその場で説明できるため、理解も早く、品質向上と生産効率アップに貢献しています。



医療

山形大学医学部附属病院 様

61病院をビデオ会議でつなぎ、高度な治療の技術を共有しています。患者様が治療に応じて病院を変える必要がなくなり、負担を減らすことができました。



医療

クオール株式会社 様

モバイル端末でビデオ会議に参加できる環境をHDコムで構築。調剤薬局店舗と、事務所間のコミュニケーションツールとして活用されるようになりました。



教育

瀬戸市教育委員会 様

遠隔教育システムが学校間の物理的な距離を解消。専門性・多様性を活かした質の高い教育環境整備に貢献。



教育

学校法人かいけ幼稚園 かいけ心正こども園 様

幼児向け英語教材を導入する際に必要な教員研修を、遠隔教育システムで実現。幼稚園での英語教育推進に大きく貢献しています。



福祉

株式会社かんきょう 様

迅速に情報共有するためにHDコムを多彩にお使いいただいています。「モバイル接続拡張」で自席から会議に参加が可能になり、業務改善につながりました。



金融・証券

株式会社 常陽銀行 様

支店と出張所をビデオ会議でつなぐことにより、サービスの質や利便性を維持したまま店舗の省人化を実現しました。



食品

株式会社王将フードサービス 様

事業所や工場をHDコムで結ぶことで、今まで出張に費やしていた時間を有効利用できるようになり、拠点間のコミュニケーション強化にもつながっています。



商社

井上定株式会社 様

24拠点の会議室をつなぎ、これまで参加できていなかった社員も支店にいながら会議参加が可能になりました。重要な情報がリアルタイムで伝わり、拠点間のスムーズな連携を実現されています。



金融・証券

株式会社 足利銀行 様

HDコムで遠隔地での会議や研修で発生する業務不在時間を削減されました。出張費の削減はもちろん、講習の習得率向上にも役立っています。



エネルギー

北陸電力株式会社 様

70拠点以上の事業所間で日常的にHDコムを活用されています。画像や映像の詳細な情報をフルHDで共有でき、円滑に会議を行うことができるようになりました。

HDコムをいつも最適な状態で
ご利用いただけるよう、
保守サービス活用の検討をお願いします。



- 1 各種お問い合わせ/障害コール対応サービス**
機能や操作などのご相談や障害発生時の切り分けなどを、電話およびEメールでサポートします。障害切り分けの為、お客様にてログを取得いただき、保守窓口へお送りいただくことがあります。
- 2 機器故障時の代替品発送サービス**
障害発生時の切り分けの結果、保守窓口にて機器故障と判断したとき、設定済の代替機材を発送します。(HDコム本体だけでなく、HDコム専用マイクやHDコム専用カメラを含みます)
- 3 オンサイト保守サービス**
障害発生時の切り分けの結果、保守窓口にて必要と判断した場合は、当社より手配した作業員が機器設置場所にお伺いし、故障機器の交換などの復旧作業を行います。
- 4 故障機器修理サービス**
故障機器は、お客様より保守窓口に戻送していただき、修理を実施いたします。修理完了機器をお客様にて交換後、代替品を返却いたします。

正常な状態において発生した各種故障が保守の対象です。
 ※保守サービスの対応時間は、月曜日～金曜日9:00～17:30(土・日・祝・年末年始「12/29～1/4」を除く)
 ※消耗品の交換、過失・天災地変などによる故障は除きます。
 ※故障機器および代替品のお客様からの発送費用は、お客様負担になります。

■対象となる製品

保守契約対象商品	品番	数量	備考
HDコム本体	KX-VC2000J/KX-VC1600J/KX-VC1300J	1	電池、リモコン、ACアダプター、ケーブル類(ACコード/HDMIケーブル/LANケーブル/HDコム本体-専用マイク間ケーブル)は消耗品となり保守対象外です。
HDコム専用マイク	KX-VCA001/KX-VCA002	1～4	
HDコム専用カメラ	KX-VD170J/GP-VD151J/GP-VD131J	1	
Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックス	KX-VCG100J	1	

■サービス仕様

KX-VC2000J		KX-VC1600J	
	品番		品番
初年度4年バック	KX-VC2000J向け:J-VC2000-CP4A	初年度4年バック	KX-VC1600J向け:J-VC1600-CP4A
1年延長バック	KX-VC2000J向け:J-VC2000-CP5A	1年延長バック	KX-VC1600J向け:J-VC1600-CP5A

KX-VC1300J		KX-VCG100J	
	品番		品番
初年度4年バック	KX-VC1300J向け:J-VC1300-CP4A	初年度4年バック	KX-VCG100J向け:J-VCG100J-CP4A
1年延長バック	KX-VC1300J向け:J-VC1300-CP5A	1年延長バック	KX-VCG100J向け:J-VCG100J-CP5A

詳しい内容につきましては販売店にお問い合わせください。